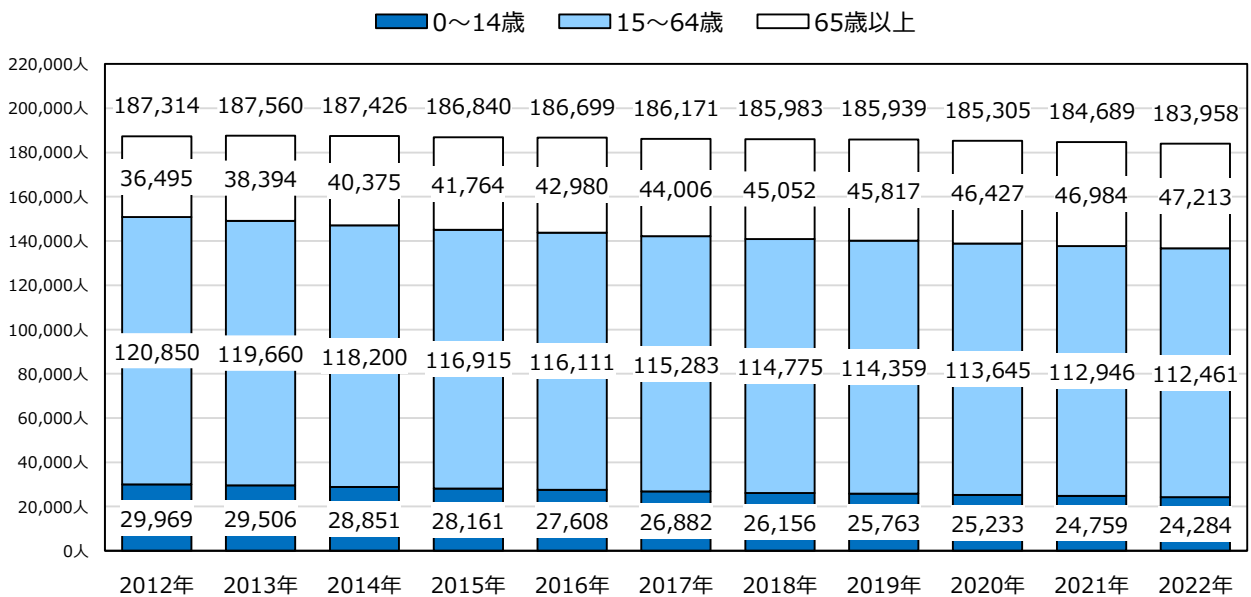


和泉市における現状

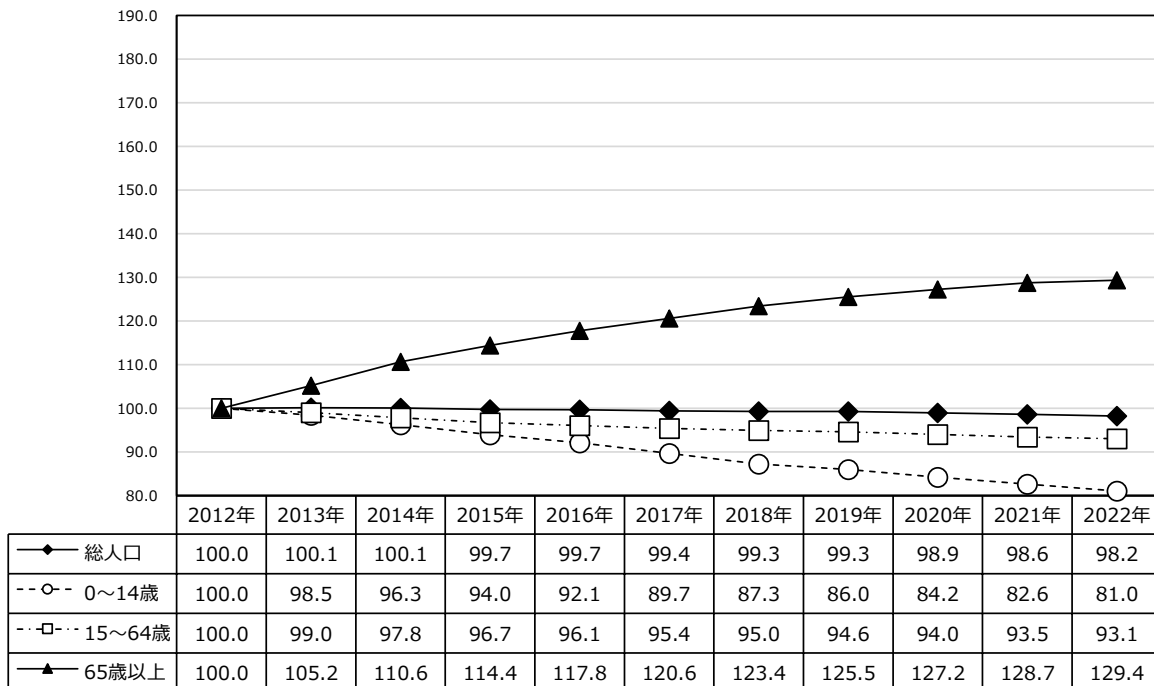
1. 人口

- 総人口は 2013 年をピークに緩やかに減少。2022 年で 183,958 人。65 歳以上の高齢者人口は年々増加。
- 2012 年を 100.0 とした人口指数をみると、65 歳以上高齢者は 2022 年で 129.4 と、この 10 年で 1.3 倍程度増加。

年齢3区分別人口の推移



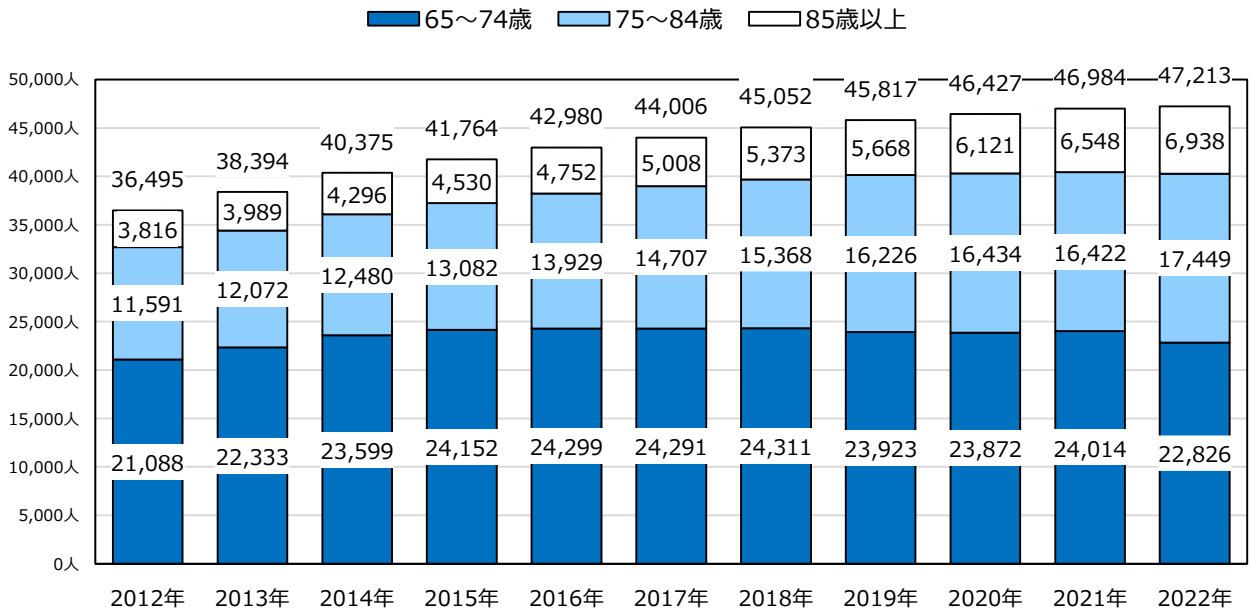
2012 年を 100.0 とした年齢3区分別人口指数



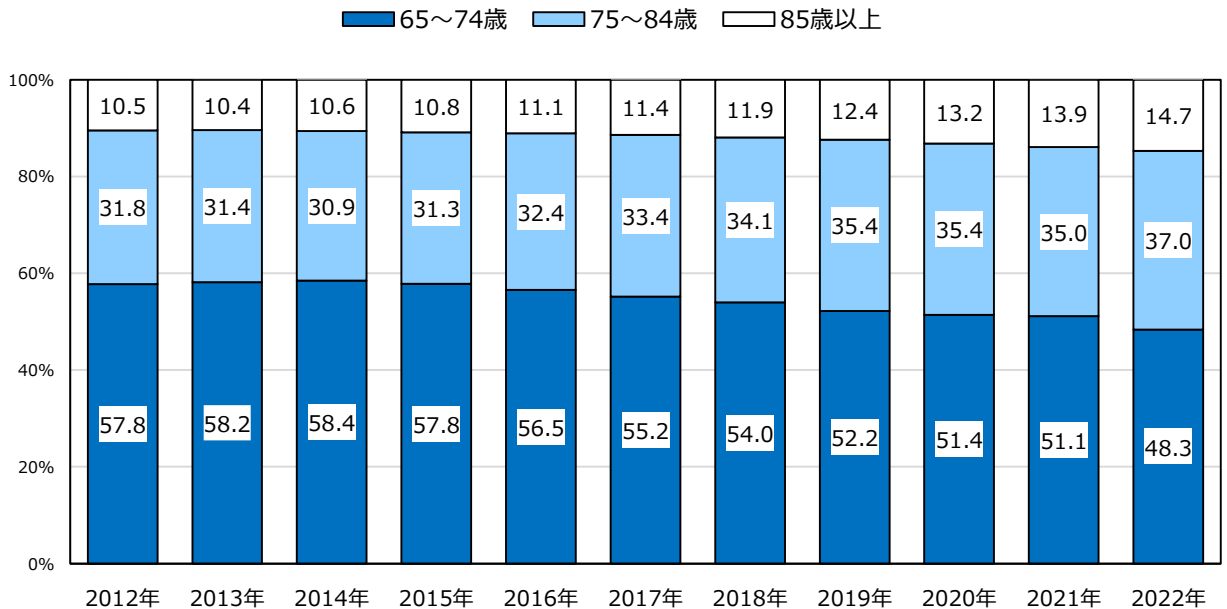
資料：住民基本台帳（各年9月末現在）

- 高齢者人口を年齢別にみると、65～74歳は2016年以降増減を繰り返しており、2022年で22,826人。75～74歳、85歳以上は年々増加。
- 構成比をみると、2022年で初めて前期高齢者（65～74歳）を後期高齢者（75歳以上）が上回る。

高齢者人口の推移



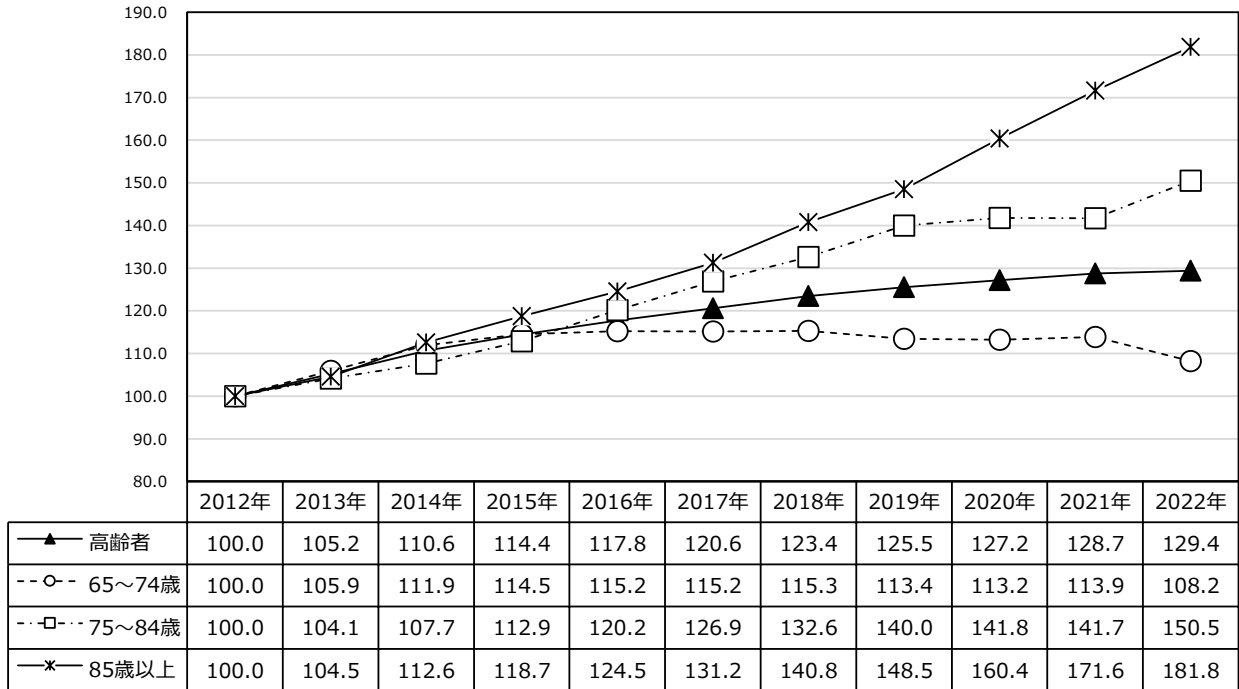
高齢者人口の構成比の推移



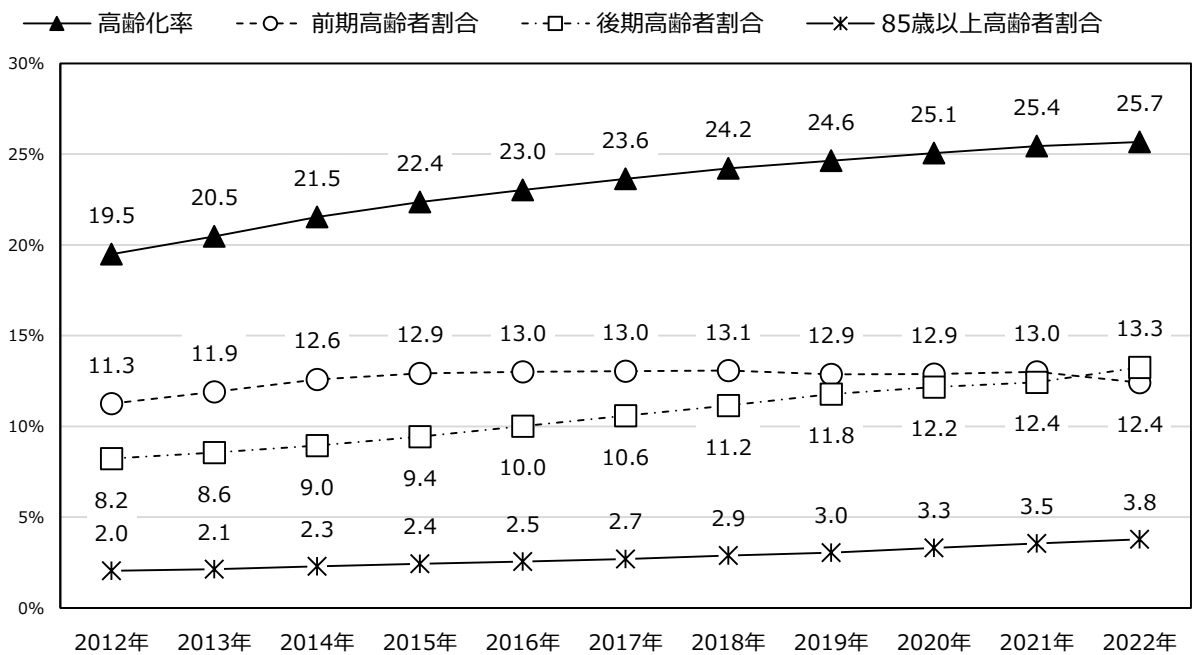
資料：住民基本台帳（各年9月末現在）

- 2012年を100.0とした高齢者人口指数をみると、75歳以上の高齢者の増加が著しく、特に85歳以上は2022年で181.8と特に増加している。
- 高齢者率は2022年で25.7%と、年々増加。前期高齢者割合はほぼ横ばいに対し、後期高齢者割合、85歳以上高齢者割合は年々増加。

2012年を100.0とした高齢者人口指数



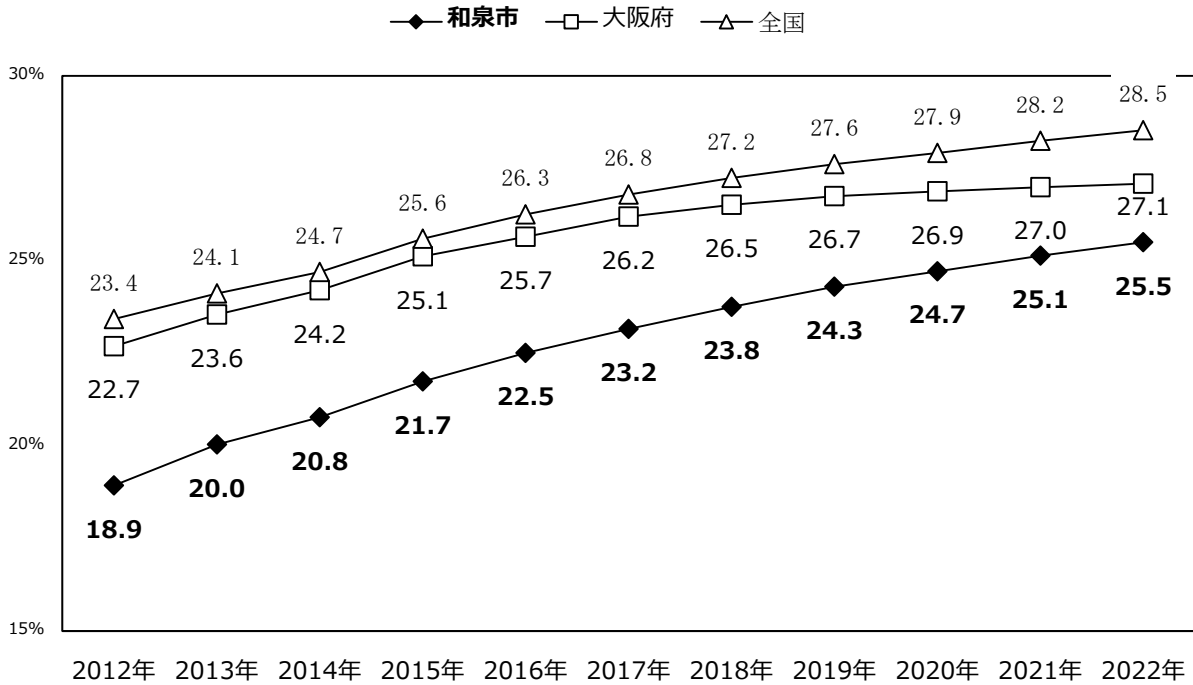
高齢化率の推移



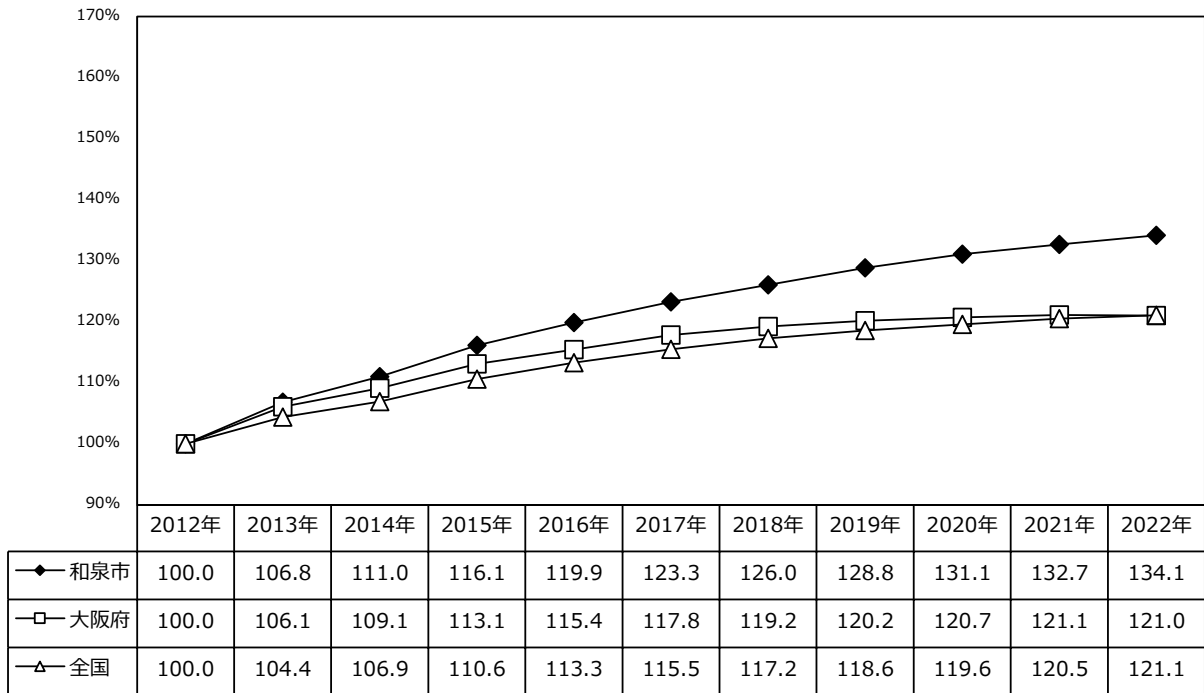
資料：住民基本台帳（各年9月末現在）

- 高齢化率は全国・大阪府より低い、差は年々縮まっている。
- 2012年を100.0とした高齢者人口指数は全国・大阪府より高い。

高齢化率の推移【全国・大阪府との比較】



2012年を100.0とした高齢者人口指数

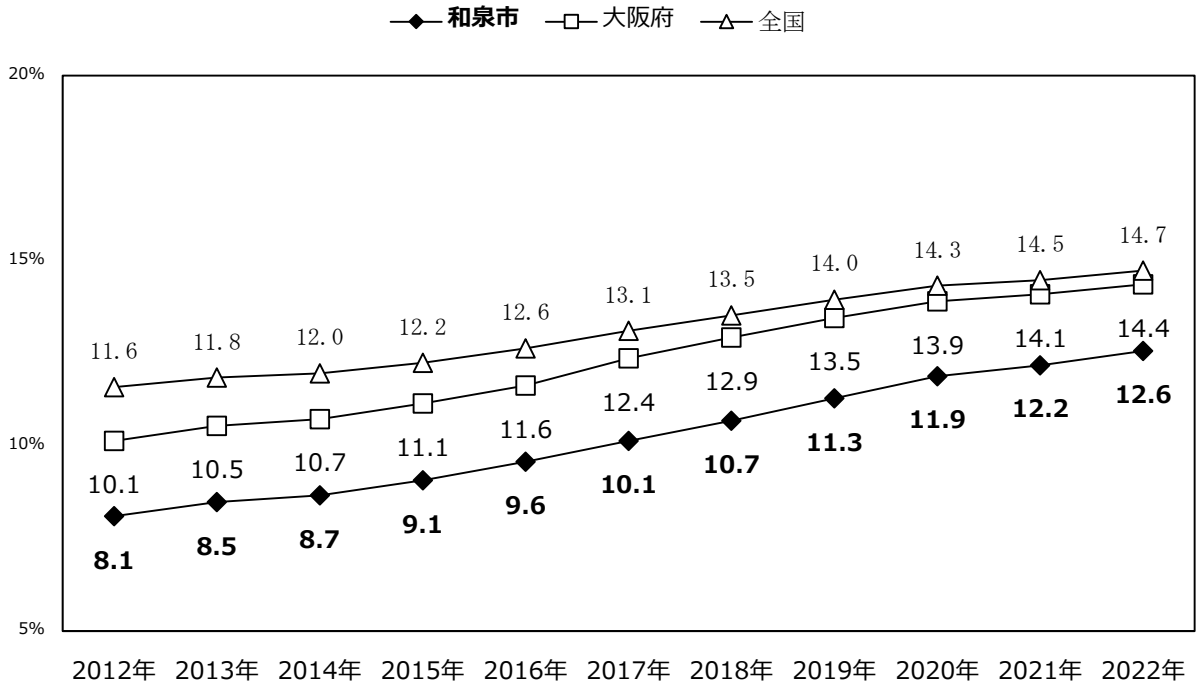


資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」

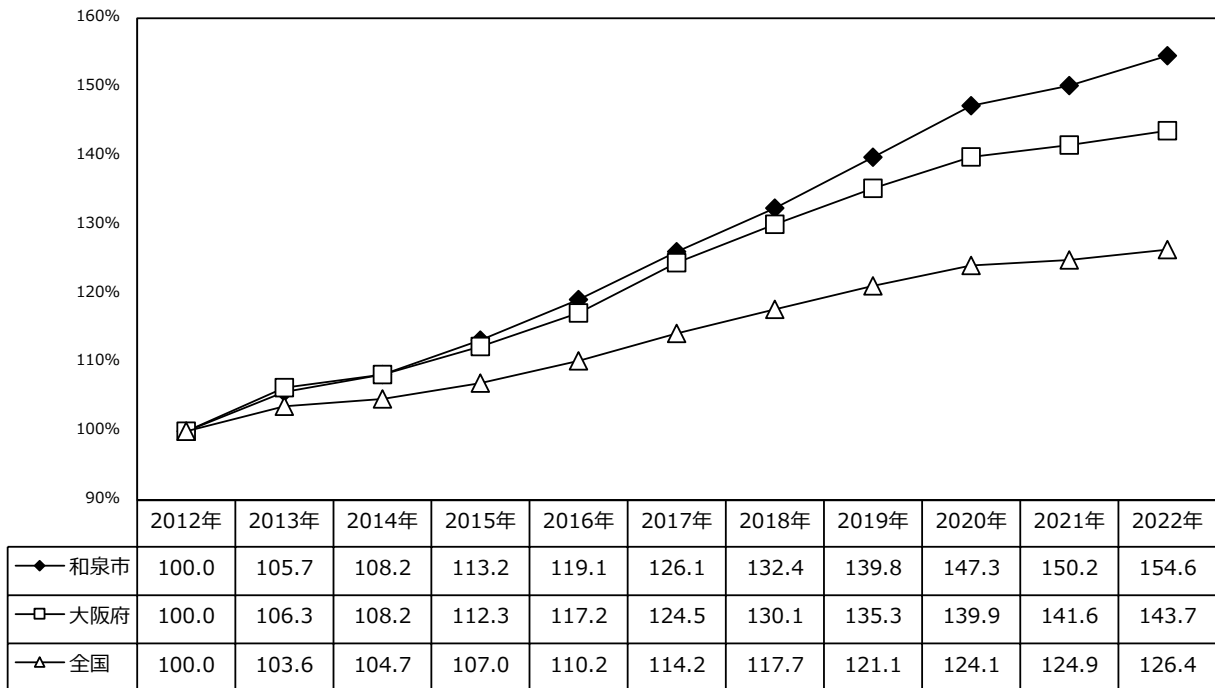
※2013年までは3月31日現在、2014年以降は1月1日現在

- 後期高齢化率は全国・大阪府より低い。
- 2012年を100.0とした後期高齢者人口指数は全国・大阪府より高い。

後期高齢化率の推移【全国・大阪府との比較】



2012年を100.0とした後期高齢者人口指数



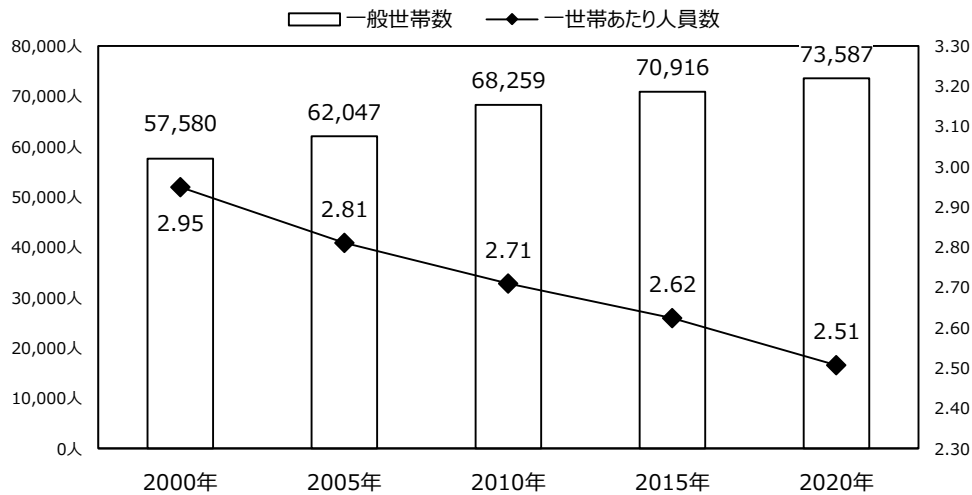
資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」

※2013年までは3月31日現在、2014年以降は1月1日現在

2. 世帯

- 一般世帯数は年々増加しており、2020年で73,587世帯。
- 高齢者のいる世帯は2020年で29,593世帯と全体の40.2%を占め、全国よりは低いものの大阪府よりは多い。高齢者単身世帯・高齢者夫婦のみ世帯は年々増加。

一般世帯数と一世帯あたり人員数の推移



高齢者のいる世帯の推移

		2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
一般世帯数	世帯数	57,580	62,047	68,259	70,916	73,587
	構成比	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
高齢者のいる世帯	世帯数	15,038	18,961	23,037	27,486	29,593
	構成比	26.1	30.6	33.7	38.8	40.2
うち高齢者単身世帯	世帯数	2,770	4,217	5,565	7,084	8,215
	構成比	4.8	6.8	8.2	10.0	11.2
うち高齢者夫婦のみ世帯	世帯数	3,567	5,048	6,851	8,605	9,646
	構成比	6.2	8.1	10.0	12.1	13.1
その他一般世帯	世帯数	42,542	43,086	45,222	43,430	43,994
	構成比	73.9	69.4	66.3	61.2	59.8
大阪府高齢者のいる世帯	構成比	27.2	31.8	35.2	39.1	38.0
全国高齢者のいる世帯	構成比	32.2	35.1	37.3	40.7	40.7

資料：国勢調査（各年10月1日現在）

※国勢調査における一般世帯とは、以下の世帯を指します。

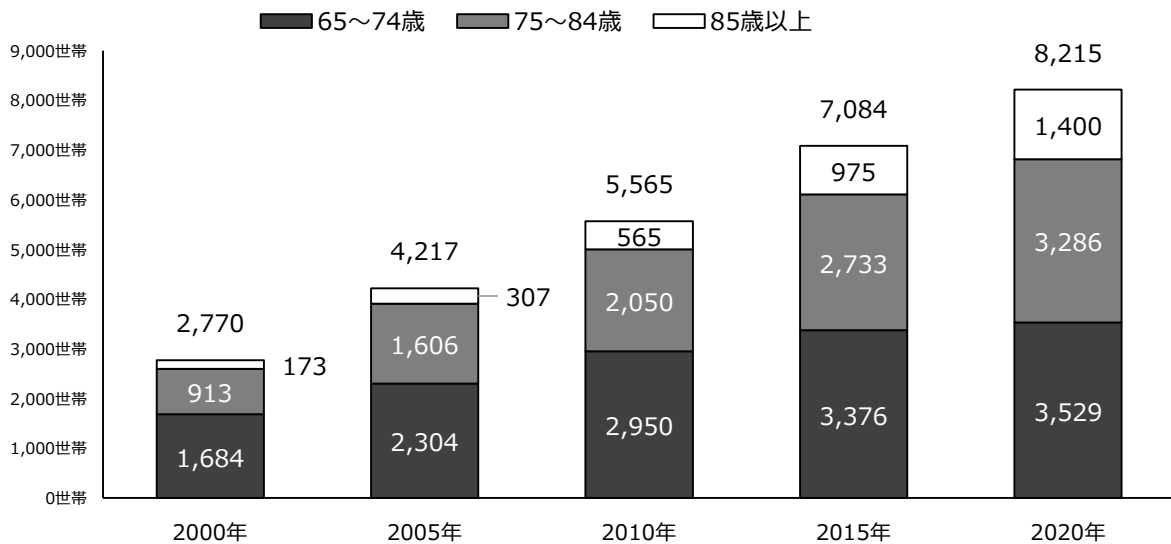
- ① 住居と生計を共にしている人の集まり又は一戸を構えて住んでいる単身者（ただし、これらの世帯と住居を共にする単身の住み込みの雇人については、人数に関係なく雇主の世帯に含む。）
- ② 上記の世帯と住居を共にし、別に生計を維持している間借りの単身者又は下宿屋などに下宿している単身者
- ③ 会社・団体・商店・官公庁などの寄宿舎、独身寮などに居住している単身者

※上記における「高齢者夫婦のみ世帯」は、夫65歳以上妻60歳以上の夫婦を指します。

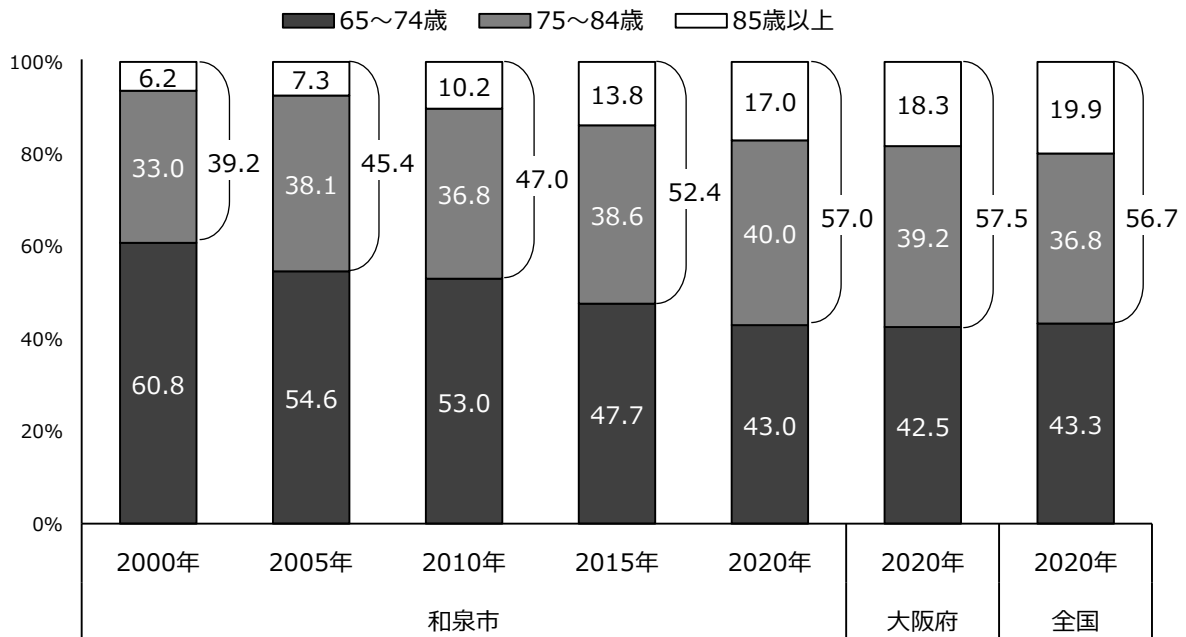
○高齢者単身世帯を年齢別にみると、どの年代も増加しているが、特に75～84歳・85歳以上で大きく増加しており、2020年で75～84歳は3,286世帯（構成比40.0%）、85歳以上は1,400世帯（構成比17.0%）。75歳以上の単身世帯は4,686世帯（構成比57.0%）。

○75歳以上の高齢者単身世帯は4,686世帯（構成比57.0%）と、全国より高く、大阪府より低い。

年齢別高齢者単身世帯の推移



年齢別高齢者単身世帯構成比の推移



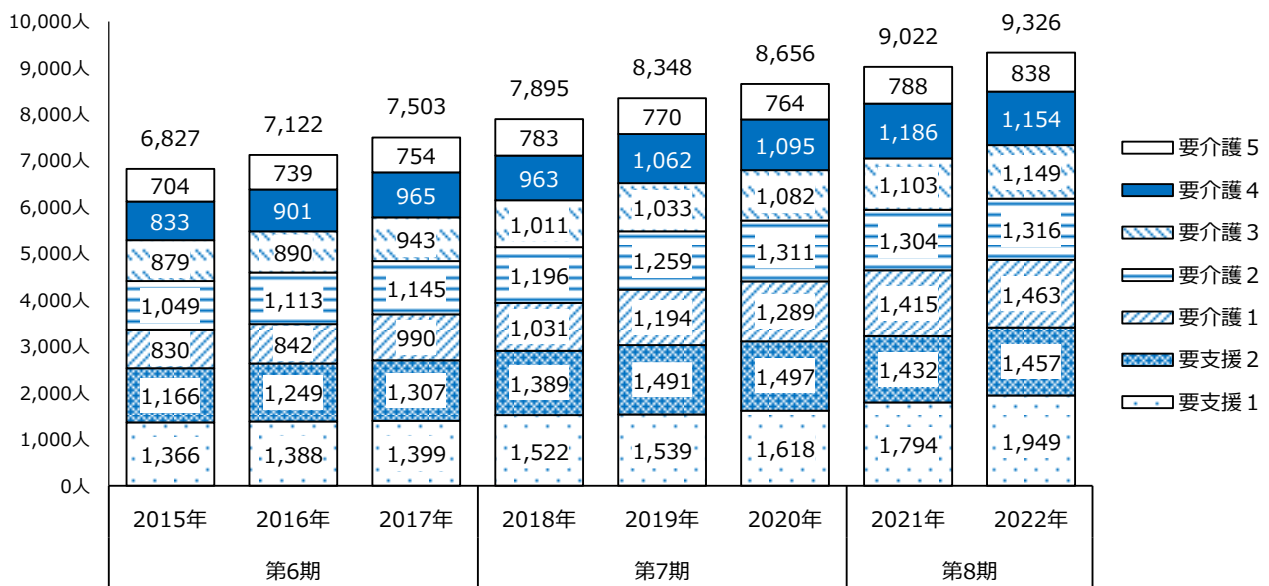
資料：国勢調査（各年10月1日現在）

3. 要支援・要介護認定者の状況

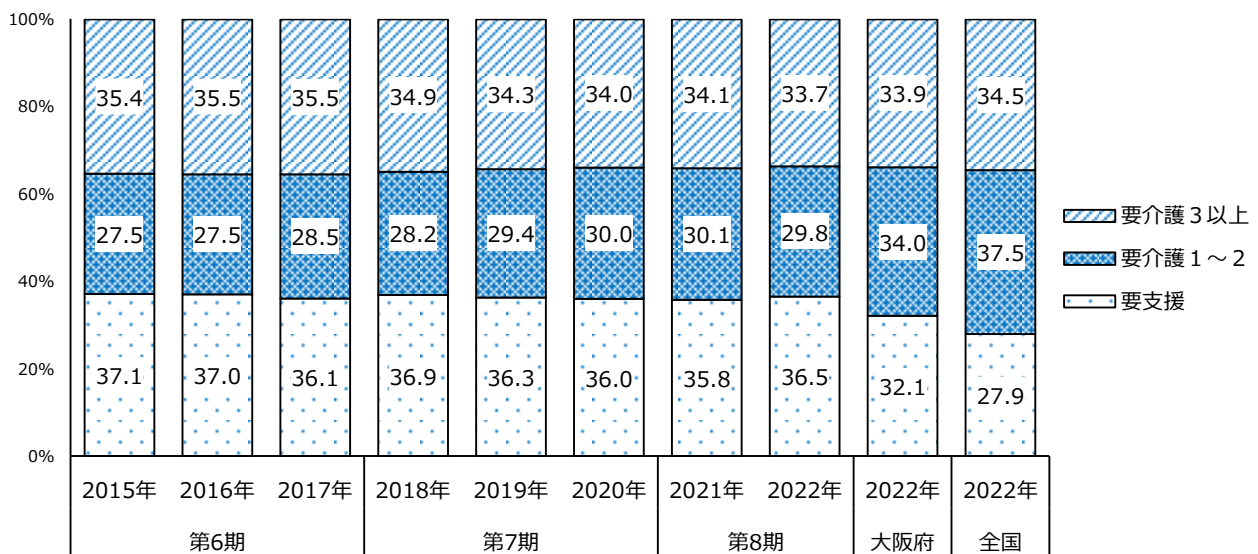
(1) 要支援・要介護認定者の状況

- 要支援・要介護認定者は年々増加しており、2022年で9,326人。要支援1が1,949人（構成比20.9%）で最も多く、次いで要介護1が1,463人（構成比15.7%）。
- 3区分別要支援・要介護認定者の構成割合をみると、2022年で要支援が36.5%、要介護3以上が33.7%、要介護1～2が29.8%。全国・大阪府に比べて要支援が多く、要介護1～2及び要介護3以上は全国・大阪府より少ない。

要支援・要介護認定者数の推移



要支援・要介護認定者構成割合（3区分別）の推移

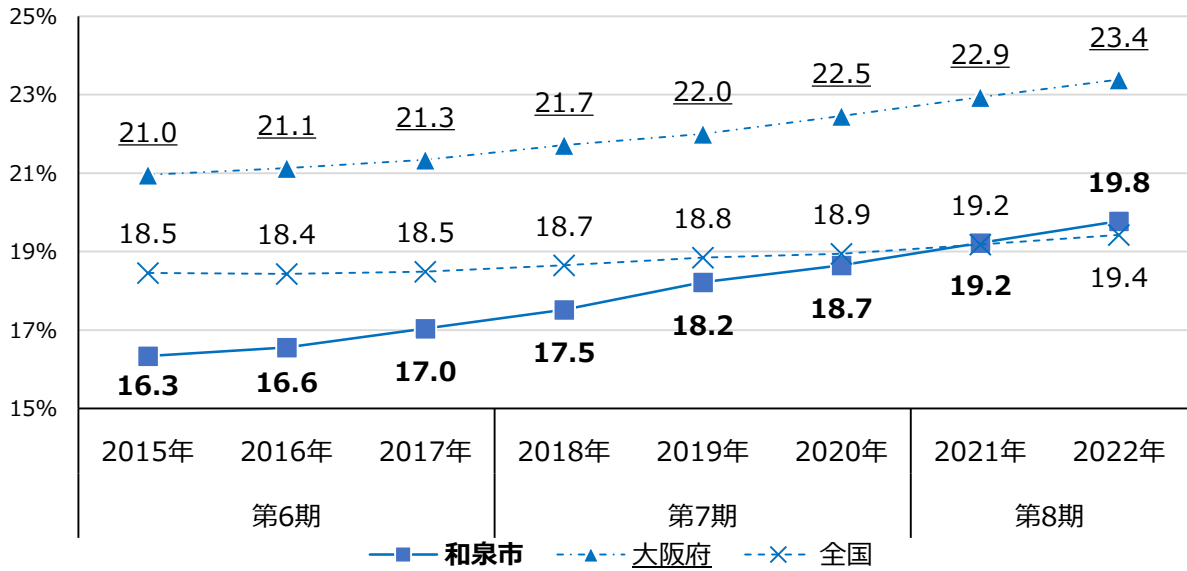


資料：介護保険状況報告（各年9月月報）

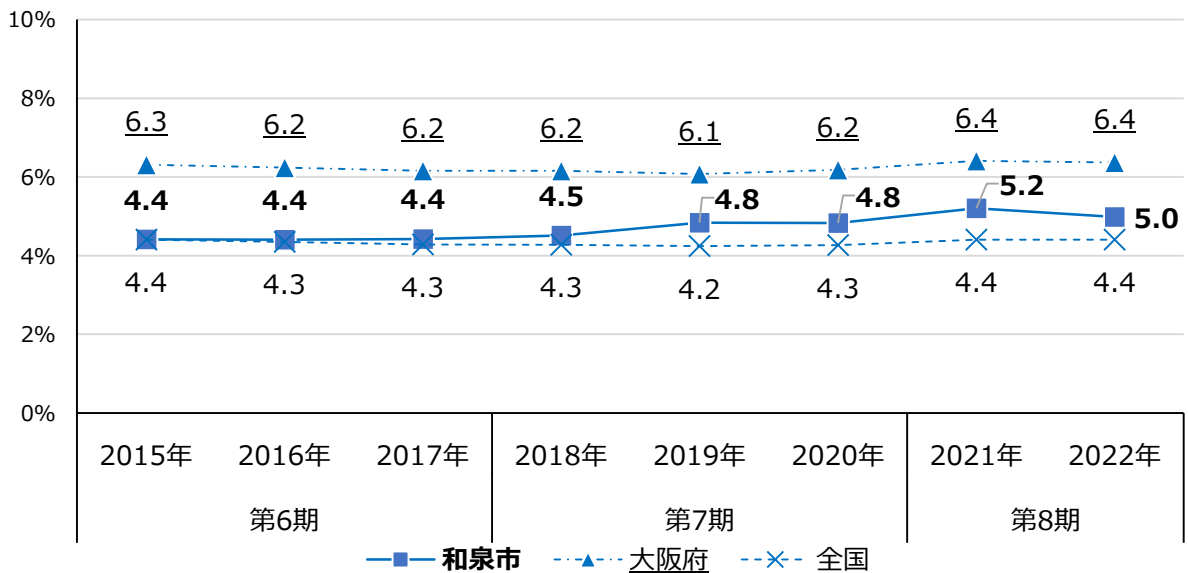
※上記の数字には第2号被保険者を含みます。

- 要支援・要介護認定率は年々増加しており、2022年で19.8%。
- 要支援・要介護認定率は2020年まで全国・大阪府より低かったが、2021年で全国と同じ19.2%、2022年では全国を上回る。
- 前期高齢者の要支援・要介護認定率は、全国より高く、大阪府より低い。

要支援・要介護認定率の推移（第2号を含む）



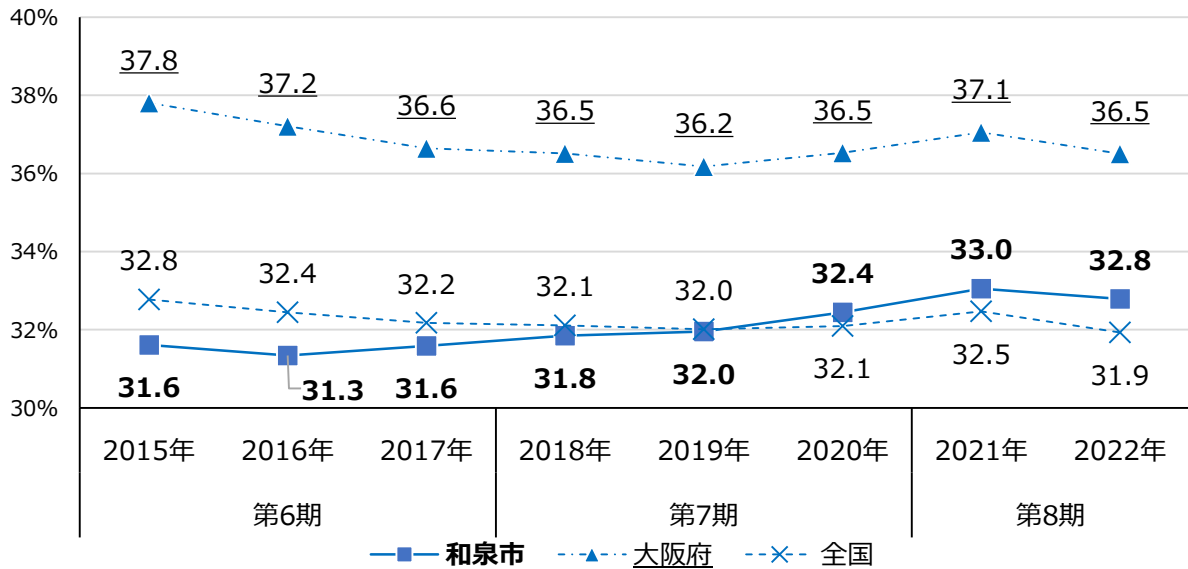
前期高齢者の要支援・要介護認定率の推移



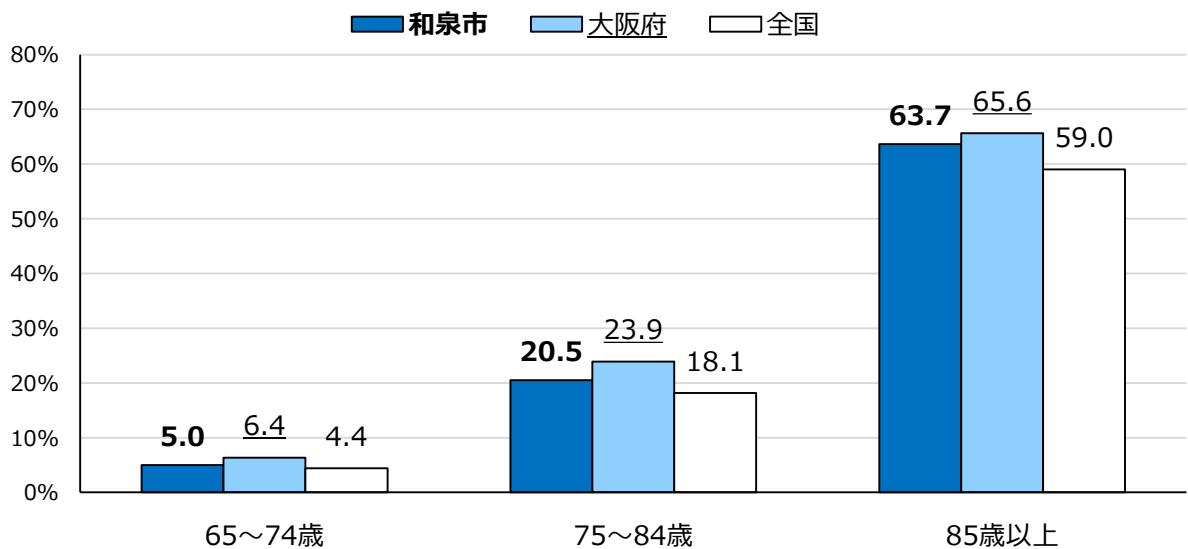
資料：介護保険状況報告（各年9月月報）

- 後期高齢者の要支援・要介護認定率は2018年まで全国・大阪府より低かったが、2019年で全国と同じ32.0%、2020年以降は全国よりも高い。
- 年齢別に2022年の要支援・要介護認定率をみると、各年代ともに全国より高く、大阪府より低い。

後期高齢者の要支援・要介護認定率の推移



年齢別要支援・要介護認定率（2022年）

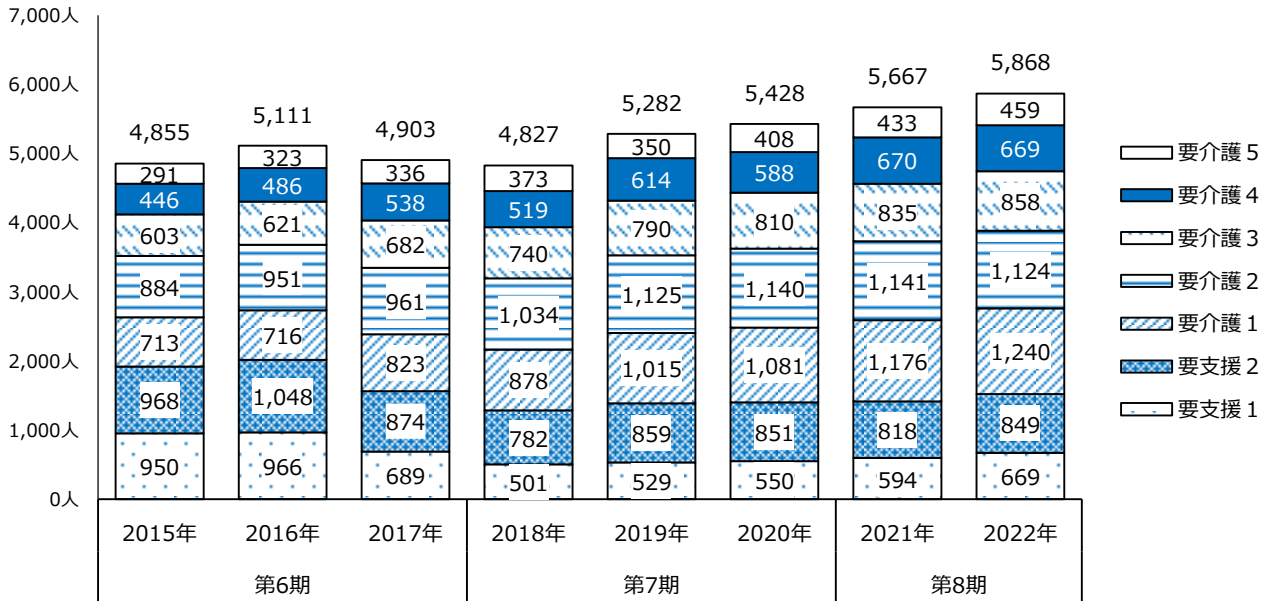


資料：介護保険状況報告（各年9月月報）

(2) 居宅サービス受給者の状況

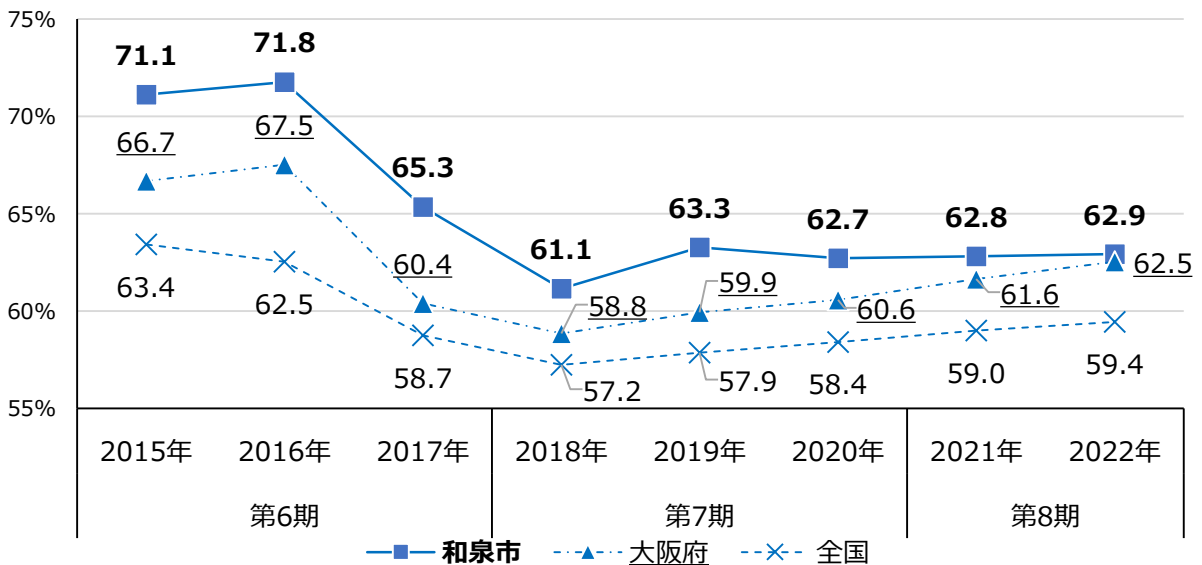
- 居宅サービスの受給者は2022年で5,868人と年々増加。(※2017年4月から要支援者の介護予防訪問介護・介護予防通所介護が介護予防・日常生活支援総合事業に移行したため、2017年以降は一時的に居宅サービス受給者が減少。)
- 居宅サービス受給者率は2019年以降ほぼ横ばいの状況にあり、2022年で62.9%。全国・大阪府より高い。

居宅サービス受給者の推移



資料：介護保険状況報告（各年11月月報【9月利用分】）

居宅サービス受給率の推移

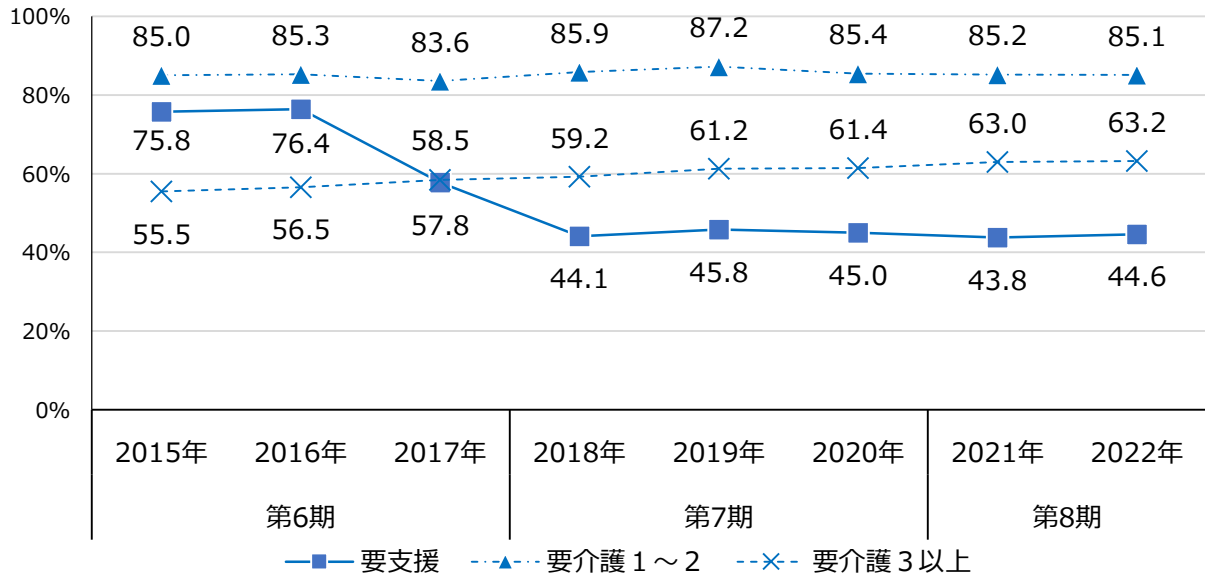


資料：介護保険状況報告（各年11月月報【9月利用分】）

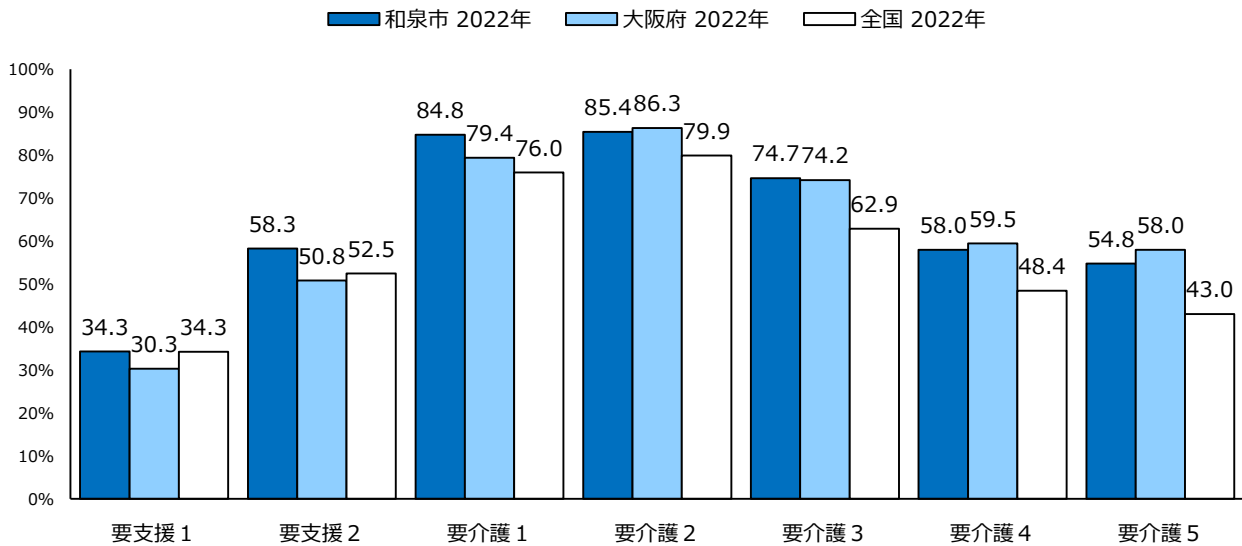
※居宅サービス受給率は、居宅サービス受給者数を要支援・要介護認定者数で割ったもの

- 要介護度3区分別に居宅サービス受給率をみると、2018年以降、要支援・要介護1～2はほぼ横ばいとなっているが、要介護3以上は年々受給率が増加。
- 要支援・要介護度別に2022年の受給率をみると、要支援1・要支援2・要介護1・要介護3が全国・大阪府よりも受給率が高い。

要介護度3区分別居宅サービス受給率の推移



要支援・要介護度別居宅サービス受給率（2022年）

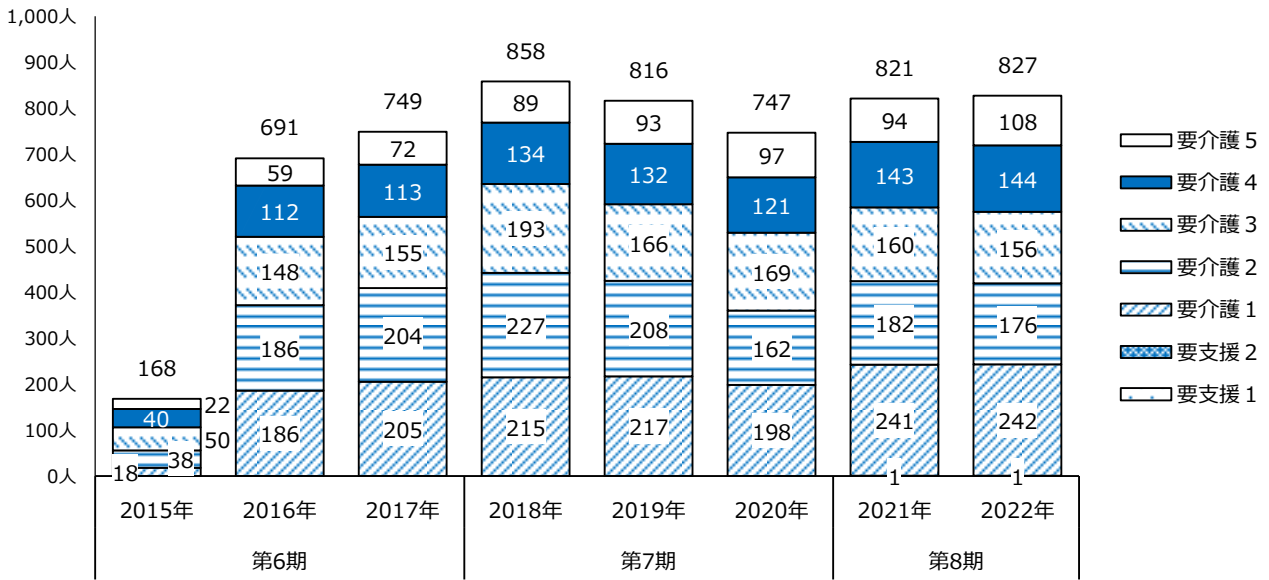


資料：介護保険状況報告（各年11月月報【9月利用分】）

(3) 地域密着型サービス受給者の状況

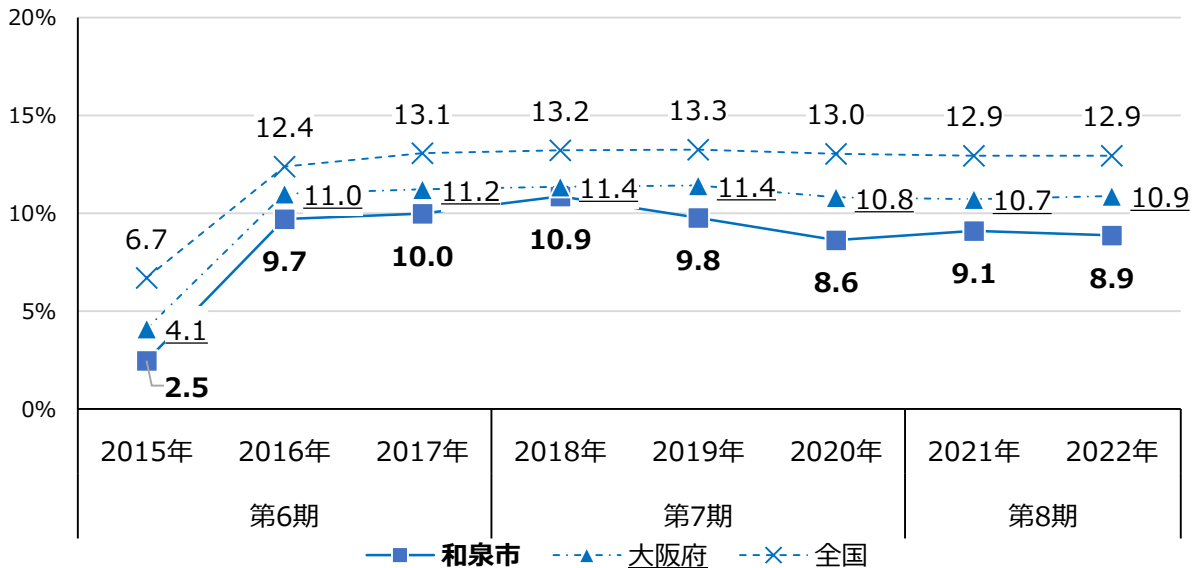
- 地域密着型サービスの受給者は各年で増減しており、2022年で827人（2016年4月から小規模の通所介護事業者が地域密着型サービスに移行したため、2015年から2016年にかけて受給者が大きく増加）。
- 地域密着型サービス受給者率は各年ともに全国・大阪府より低い。

地域密着型サービス受給者の推移



資料：介護保険状況報告（各年11月月報【9月利用分】）

地域密着型サービス受給率の推移

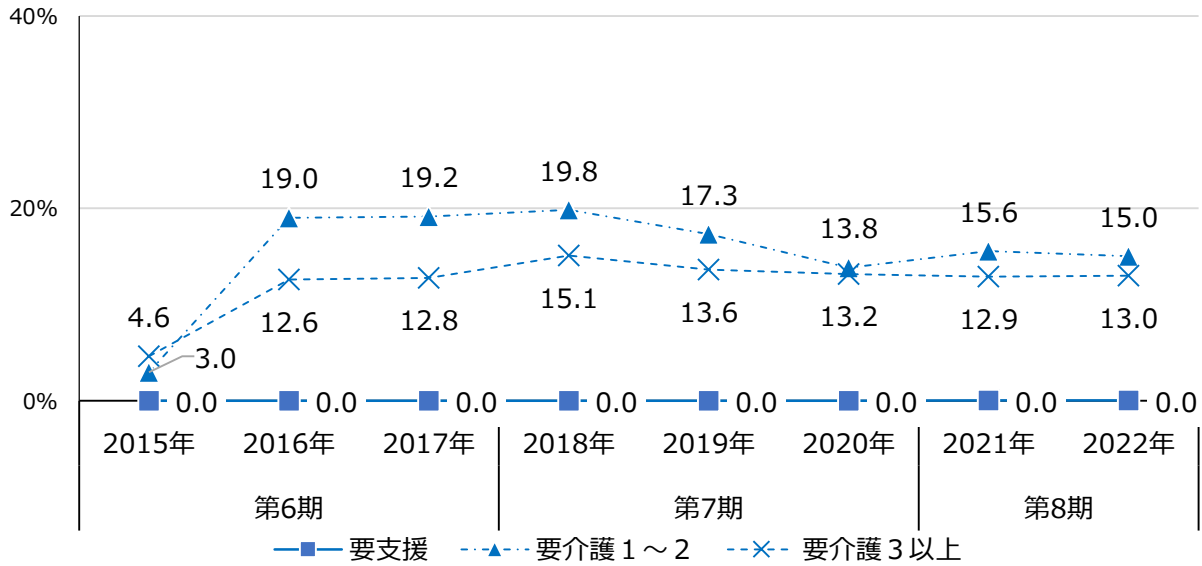


資料：介護保険状況報告（各年11月月報【9月利用分】）

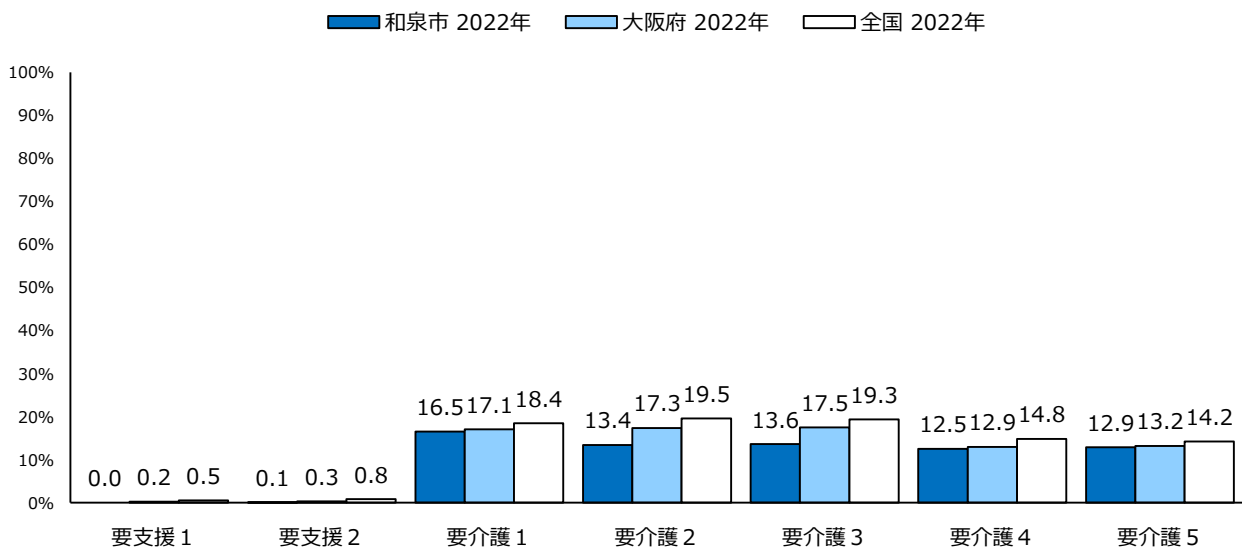
※地域密着型サービス受給率は、地域密着型サービス受給者数を要支援・要介護認定者数で割ったもの

- 要介護度3区分別に地域密着型サービス受給率をみると、各年で増減しており、2022年で要介護1～2が15.0%、要介護3以上で13.0%。
- 要支援・要介護度別に2022年の受給率をみると、すべての要介護度で受給率が全国・大阪府より低い。

要介護度3区分別地域密着型サービス受給率の推移



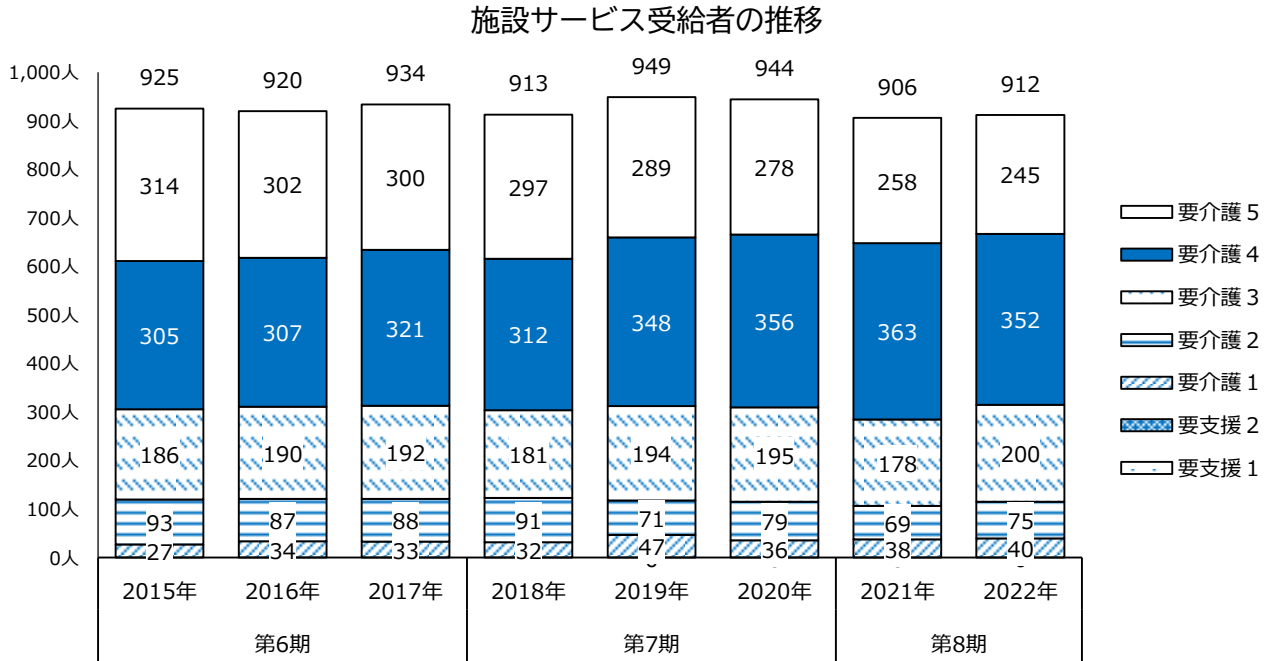
要支援・要介護度別地域密着型サービス受給率（2022年）



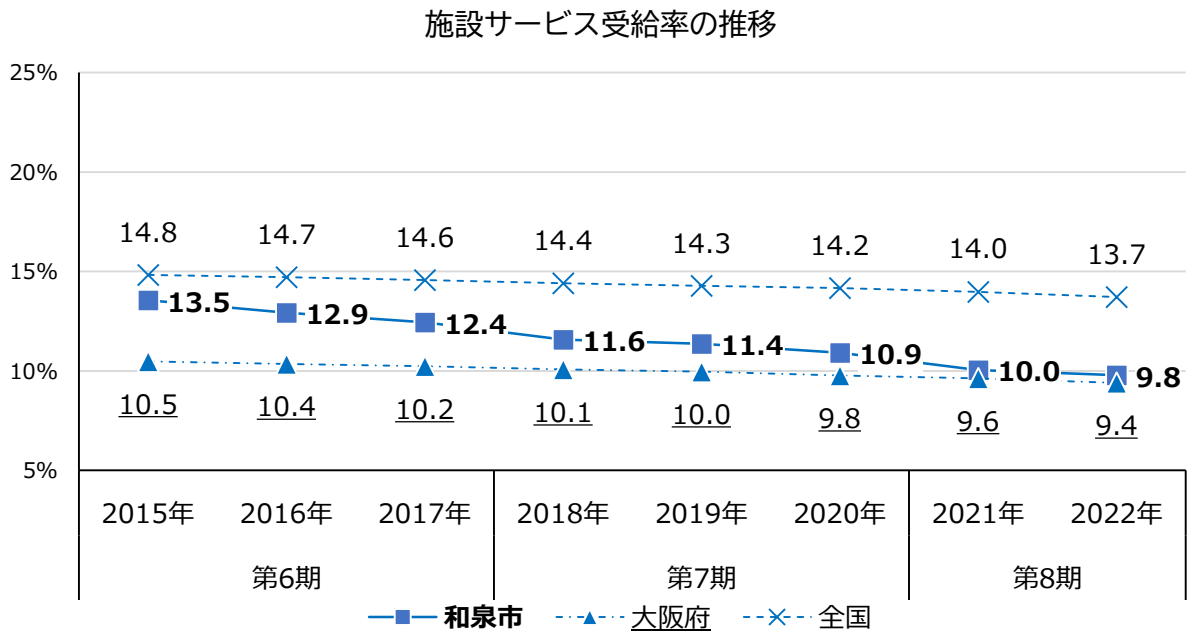
資料：介護保険状況報告（各年11月月報【9月利用分】）

(4) 施設サービス受給者の状況

- 施設サービスの受給者はほぼ横ばいの状況にあり、2022年で912人。
- 施設サービス受給者率は各年ともに全国より低く、大阪府より高い。



資料：介護保険状況報告（各年11月月報【9月利用分】）

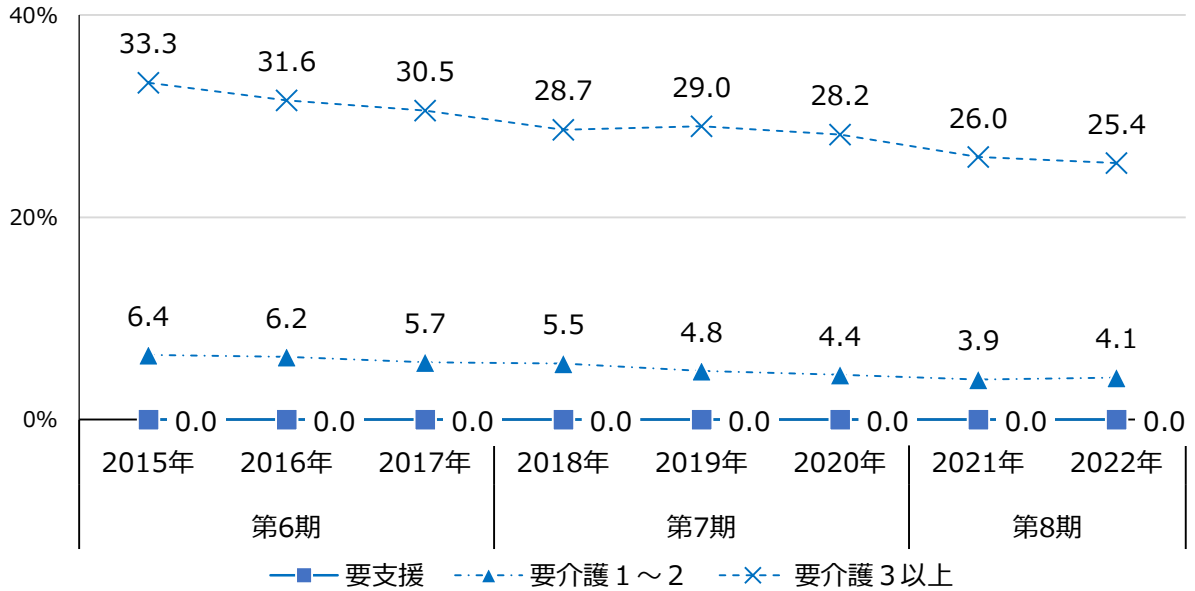


資料：介護保険状況報告（各年11月月報【9月利用分】）

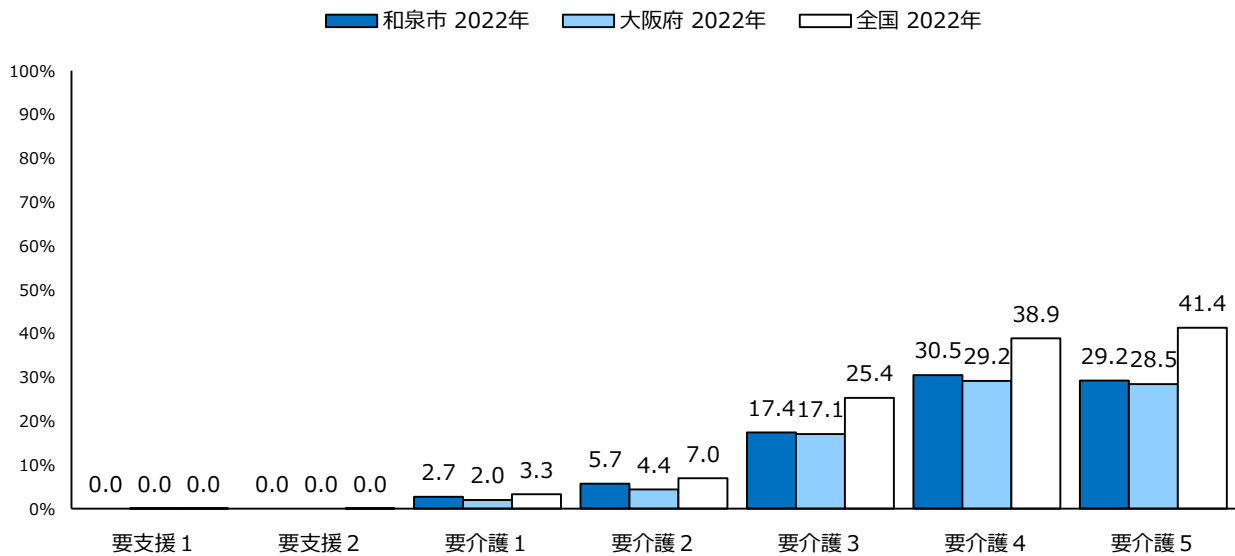
※施設サービス受給率は、施設サービス受給者数を要支援・要介護認定者数で割ったもの

- 要介護度3区分別に施設サービス受給率をみると、要介護1～2・要介護3以上ともに減少傾向にあり、2022年で要介護1～2は4.1%、要介護3以上で25.4%。
- 要支援・要介護度別に2022年の受給率をみると、すべての要介護度で全国より低く、大阪府より高い。

要介護度3区分別施設サービス受給率の推移



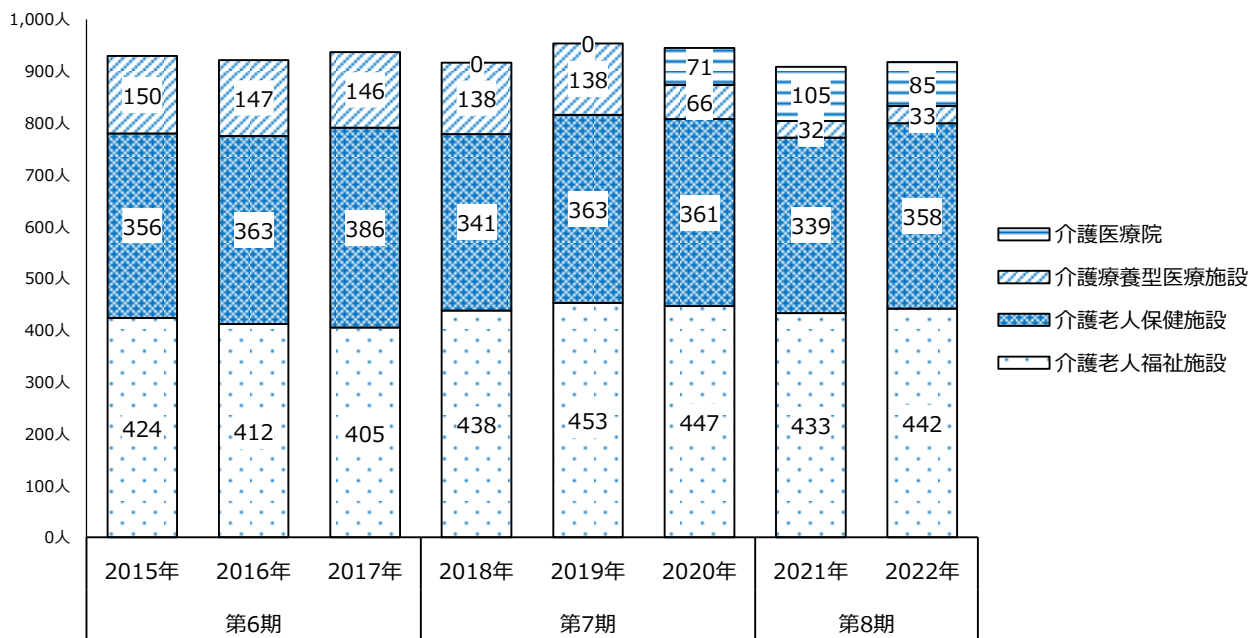
要支援・要介護度別施設サービス受給率（2022年）



資料：介護保険状況報告（各年11月月報【9月利用分】）

- 施設の種別に見ると、各施設とも各年で増減している。
- 「介護老人福祉施設」の利用が最も多い。

施設の種別別施設サービス受給者の推移



資料：介護保険状況報告（各年11月月報【9月利用分】）

(5) 介護保険サービス受給者の状況

- 各サービスの受給状況をみると、2022年で「介護予防支援・居宅介護支援」が5,224人（受給率56.0%）で最も多く、次いで「福祉用具貸与」が3,821人（受給率41.0%）、「訪問介護」が1,924人（受給率20.6%）が続いている。
- 居宅サービスの伸び率（2017年→2022年）をみると、「訪問看護」「訪問リハビリテーション」「特定施設入居者生活介護」の3サービスで伸び率が150.0を超えている。

サービス別受給者数と受給率

		受給者(人)			受給率(%)			伸び率
		2017年	2020年	2022年	2017年	2020年	2022年	
居宅	訪問介護	1,974	1,884	1,924	26.3	21.8	20.6	97.5
	訪問入浴介護	53	70	76	0.7	0.8	0.8	143.4
	訪問看護	624	827	975	8.3	9.6	10.5	156.3
	訪問リハビリテーション	154	190	233	2.1	2.2	2.5	151.3
	居宅療養管理指導	1,002	1,291	1,497	13.4	14.9	16.1	149.4
	通所介護	1,522	1,254	1,325	20.3	14.5	14.2	87.1
	通所リハビリテーション	814	837	871	10.8	9.7	9.3	107.0
	短期入所生活介護	258	253	245	3.4	2.9	2.6	95.0
	短期入所療養介護(介護老人保健施設)	146	88	115	1.9	1.0	1.2	78.8
	短期入所療養介護(介護療養型医療施設等)	15	0	0	0.2	0.0	0.0	0.0
	短期入所療養介護(介護医療院)	0	8	0	0.0	0.1	0.0	-
	福祉用具貸与	2,691	3,461	3,821	35.9	40.0	41.0	142.0
	特定施設入居者生活介護	90	96	175	1.2	1.1	1.9	194.4
	介護予防支援・居宅介護支援	4,439	4,889	5,224	59.2	56.5	56.0	117.7
地域密着	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	9	7	0.0	0.1	0.1	700.0
	夜間対応型訪問介護	0	0	0	0.0	0.0	0.0	-
	地域密着型通所介護	568	501	504	7.6	5.8	5.4	88.7
	認知症対応型通所介護	8	2	1	0.1	0.0	0.0	12.5
	小規模多機能型居宅介護	22	28	27	0.3	0.3	0.3	122.7
	認知症対応型共同生活介護	78	72	89	1.0	0.8	1.0	114.1
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	14	0.0	0.0	0.2	-
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	57	119	144	0.8	1.4	1.5	252.6
施設	複合型サービス	2	5	28	0.0	0.1	0.3	1,400.0
	介護老人福祉施設	405	447	442	5.4	5.2	4.7	109.1
	介護老人保健施設	386	361	358	5.1	4.2	3.8	92.7
	介護療養型医療施設	146	66	33	1.9	0.8	0.4	22.6
	介護医療院	0	71	85	0.0	0.8	0.9	-

資料：介護保険状況報告（各年11月月報【9月利用分】）

※各サービス受給率は、各サービス受給者数を要支援・要介護認定者数で割ったもの

○全国・大阪府と比較して、受給率が高いサービスは、「訪問リハビリテーション」「通所リハビリテーション」「短期入所療養介護（介護老人保健施設）」「介護予防支援・居宅介護支援」「地域密着型特定施設入居者生活介護」「地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護」「複合型サービス」「介護療養型医療施設」「介護医療院」。

2022年サービス別受給率（全国・大阪府との比較）

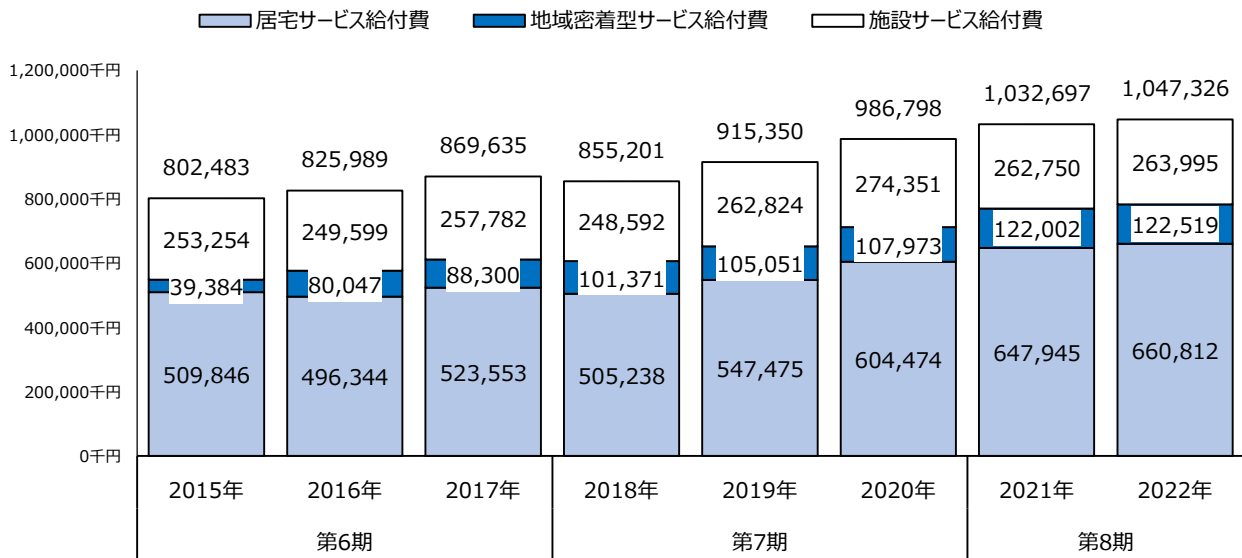
		受給率(2022年)		
		和泉市	大阪府	全国
居宅	訪問介護	20.6	24.0	15.0
	訪問入浴介護	0.8	0.8	1.0
	訪問看護	10.5	13.6	9.9
	訪問リハビリテーション	2.5	2.0	2.0
	居宅療養管理指導	16.1	18.7	14.1
	通所介護	14.2	13.9	16.1
	通所リハビリテーション	9.3	6.8	8.3
	短期入所生活介護	2.6	2.5	4.1
	短期入所療養介護(介護老人保健施設)	1.2	0.4	0.5
	短期入所療養介護(介護療養型医療施設等)	0.0	0.0	0.0
	短期入所療養介護(介護医療院)	0.0	0.0	0.0
	福祉用具貸与	41.0	41.8	36.8
	特定施設入居者生活介護	1.9	3.3	3.7
	介護予防支援・居宅介護支援	56.0	55.5	51.6
地域密着	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.1	0.3	0.5
	夜間対応型訪問介護	0.0	0.1	0.1
	地域密着型通所介護	5.4	6.4	5.8
	認知症対応型通所介護	0.0	0.5	0.7
	小規模多機能型居宅介護	0.3	0.7	1.6
	認知症対応型共同生活介護	1.0	2.0	3.0
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0.2	0.1	0.1
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1.5	0.7	0.9
	複合型サービス	0.3	0.2	0.3
施設	介護老人福祉施設	4.7	5.7	8.1
	介護老人保健施設	3.8	3.5	4.9
	介護療養型医療施設	0.4	0.1	0.1
	介護医療院	0.9	0.1	0.6

資料：介護保険状況報告（各年11月月報【9月利用分】）

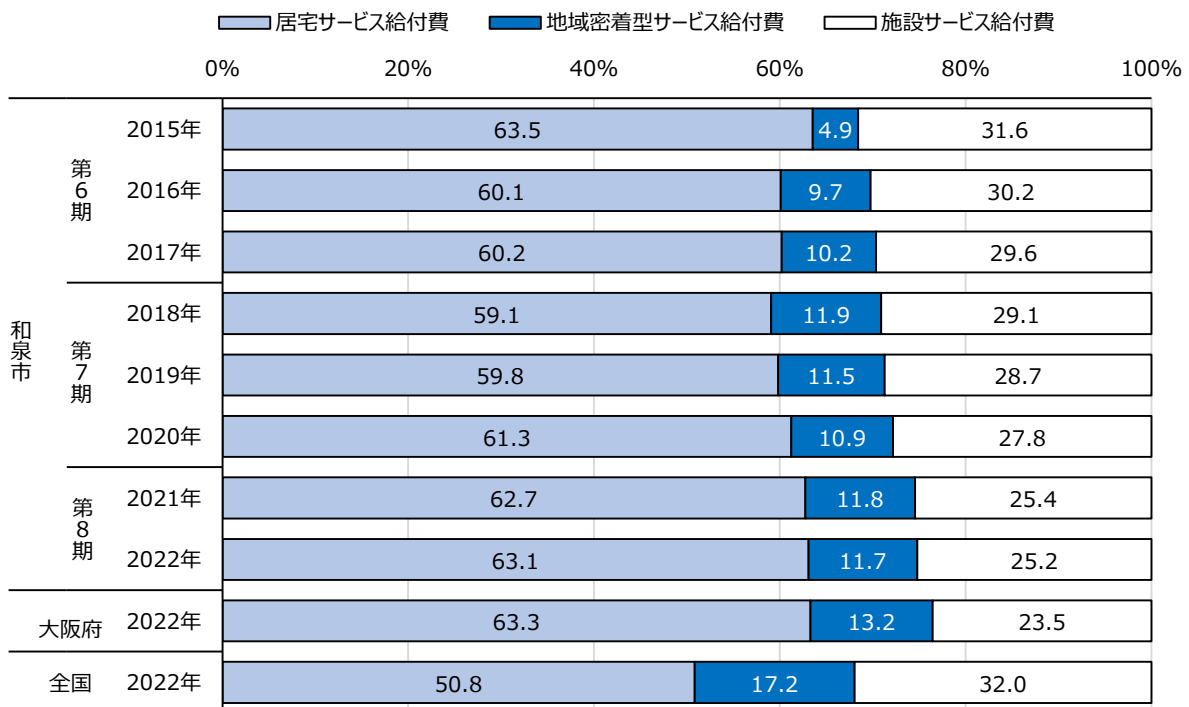
(6) 介護保険サービスの給付費の状況

- 介護保険サービスの給付費は、2022年で10億4,732万円と、増加傾向。
- 介護保険サービス給付費の構成比は、居宅サービスが63.1%で、年々構成比が増えている。一方、施設サービスは年々構成比が減っている。
- 構成比を全国・大阪府と比較すると、全国と比べて和泉市は居宅サービスが多く、地域密着型サービス・施設サービスが低い。

介護保険サービス給付費の推移



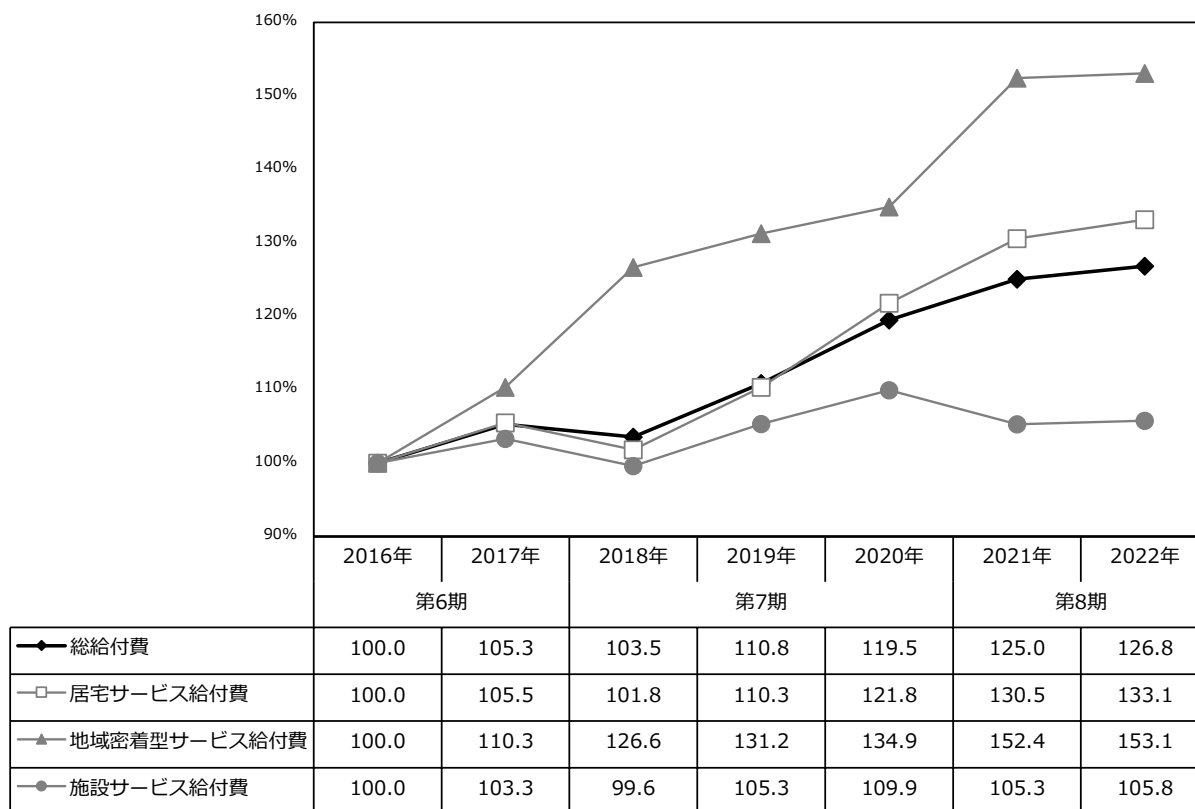
介護保険サービス給付費の構成比の推移



資料：介護保険状況報告（各年11月月報【9月利用分】）

○2016年を100.0とした給費の伸びは、2022年で総給付費は126.8。地域密着型サービスが153.1で大きく増加。施設サービスはほぼ横ばい。

2016年を100.0とした給付費の伸び率



資料：介護保険状況報告（各年11月月報【9月利用分】）

- サービス別に給付費をみると、2022年で「訪問介護」が2億2,406万円（構成比21.4%）で最も多く、次いで「介護老人福祉施設」が1億1,674万円（構成比11.1%）、「通所介護」が1億975万円（構成比10.5%）で続いている。3時点ともに「訪問介護」が最も多い。
- 居宅サービスの伸び率（2017年→2022年）をみると、通所系サービス、短期入所系のサービスが、ほかのサービスに比べて伸びていない。

サービス別給付費

		給付費(千円)			構成比(%)			伸び率
		2017年	2020年	2022年	2017年	2020年	2022年	
居宅	訪問介護	168,231	206,038	224,066	19.3	20.9	21.4	133.2
	訪問入浴介護	3,881	4,632	5,146	0.4	0.5	0.5	132.6
	訪問看護	23,903	32,510	37,834	2.7	3.3	3.6	158.3
	訪問リハビリテーション	4,945	5,877	7,340	0.6	0.6	0.7	148.4
	居宅療養管理指導	14,276	18,383	22,293	1.6	1.9	2.1	156.2
	通所介護	101,432	107,360	109,759	11.7	10.9	10.5	108.2
	通所リハビリテーション	57,306	58,734	56,060	6.6	6.0	5.4	97.8
	短期入所生活介護	27,463	32,328	28,161	3.2	3.3	2.7	102.5
	短期入所療養介護(介護老人保健施設)	13,699	9,041	11,464	1.6	0.9	1.1	83.7
	短期入所療養介護(介護療養型医療施設等)	850	0	0	0.1	0.0	0.0	0.0
	短期入所療養介護(介護医療院)		793	0		0.1	0.0	-
	福祉用具貸与	33,882	43,264	47,878	3.9	4.4	4.6	141.3
	福祉用具購入費	1,886	2,054	547	0.2	0.2	0.1	29.0
	住宅改修費	4,669	4,612	9,272	0.5	0.5	0.9	198.6
	特定施設入居者生活介護	16,829	17,434	34,186	1.9	1.8	3.3	203.1
介護予防支援・居宅介護支援	50,302	61,415	66,805	5.8	6.2	6.4	132.8	
地域密着	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	346	1,506	1,106	0.0	0.2	0.1	319.7
	夜間対応型訪問介護	0	0	0	0.0	0.0	0.0	-
	地域密着型通所介護	46,538	47,768	42,742	5.4	4.8	4.1	91.8
	認知症対応型通所介護	634	308	169	0.1	0.0	0.0	26.7
	小規模多機能型居宅介護	4,687	6,359	5,237	0.5	0.6	0.5	111.7
	認知症対応型共同生活介護	19,435	19,024	21,683	2.2	1.9	2.1	111.6
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	2,813	0.0	0.0	0.3	-
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	15,921	31,739	40,542	1.8	3.2	3.9	254.7
複合型サービス	741	1,269	8,226	0.1	0.1	0.8	1110.8	
施設	介護老人福祉施設	98,838	115,461	116,749	11.4	11.7	11.1	118.1
	介護老人保健施設	105,179	102,937	102,446	12.1	10.4	9.8	97.4
	介護療養型医療施設	53,764	24,502	11,248	6.2	2.5	1.1	20.9
	介護医療院		31,452	33,552		3.2	3.2	-
合計		869,635	986,798	1,047,326	100.0	100.0	100.0	120.4

資料：介護保険状況報告（各年11月月報【9月利用分】）

- サービス別に受給者一人あたり給付費をみると、2022年で「介護医療院」が最も高く、次いで「介護療養型医療施設」、「複合型サービス」と続く。
- 居宅サービスをみると、「特定施設入居者生活介護」が195,351円で最も多く、次いで「訪問介護」が116,458円、「短期入所生活介護」が114,943円と続く。また2017年から2022年の伸び率をみると、「訪問介護」が136.7で最も高く、次いで「通所介護」が124.3、「介護予防支援・居宅介護支援」が112.9と続く。

受給者一人あたり給付費（月額）と伸び率【2022年】

		受給者一人あたり給付費			伸び率(2017年:100.0)		
		2017年	2020年	2022年	2017年	2020年	2022年
居宅	訪問介護	85,223	109,362	116,458	100.0	128.3	136.7
	訪問入浴介護	73,230	66,165	67,710	100.0	90.4	92.5
	訪問看護	38,306	39,311	38,804	100.0	102.6	101.3
	訪問リハビリテーション	32,110	30,931	31,503	100.0	96.3	98.1
	居宅療養管理指導	14,248	14,240	14,892	100.0	99.9	104.5
	通所介護	66,644	85,614	82,837	100.0	128.5	124.3
	通所リハビリテーション	70,401	70,172	64,362	100.0	99.7	91.4
	短期入所生活介護	106,444	127,779	114,943	100.0	120.0	108.0
	短期入所療養介護(介護老人保健施設)	93,826	102,739	99,690	100.0	109.5	106.3
	短期入所療養介護(介護療養型医療施設等)	56,654	-	-	100.0	-	-
	短期入所療養介護(介護医療院)	-	99,116	-	-	-	-
	福祉用具貸与	12,591	12,500	12,530	100.0	99.3	99.5
	特定施設入居者生活介護	186,990	181,604	195,351	100.0	97.1	104.5
	介護予防支援・居宅介護支援	11,332	12,562	12,788	100.0	110.9	112.9
地域密着	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	345,915	167,279	157,994	100.0	48.4	45.7
	夜間対応型訪問介護	-	-	-	-	-	-
	地域密着型通所介護	81,933	95,346	84,806	100.0	116.4	103.5
	認知症対応型通所介護	79,204	153,972	168,972	100.0	194.4	213.3
	小規模多機能型居宅介護	213,025	227,117	193,946	100.0	106.6	91.0
	認知症対応型共同生活介護	249,163	264,227	243,632	100.0	106.0	97.8
	地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	200,944	-	-	-
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	279,310	266,710	281,542	100.0	95.5	100.8
	複合型サービス	370,294	253,838	293,795	100.0	68.6	79.3
施設	介護老人福祉施設	244,045	258,301	264,139	100.0	105.8	108.2
	介護老人保健施設	272,485	285,143	286,162	100.0	104.6	105.0
	介護療養型医療施設	368,248	371,240	340,837	100.0	100.8	92.6
	介護医療院	-	442,985	394,732	-	-	-

資料：介護保険状況報告（各年11月月報【9月利用分】）

※受給者一人あたり給付費は、「サービス別給付額」を「サービス別利用者数」で割ったもの。

○2022年の受給者一人あたり給付費を全国と比較すると、「訪問介護」、「認知症対応型通所介護」、「複合型サービス」、「介護医療院」は全国より30,000円以上高い。

2022年の受給者一人あたり給付費（月額）の比較【全国・大阪府との比較】

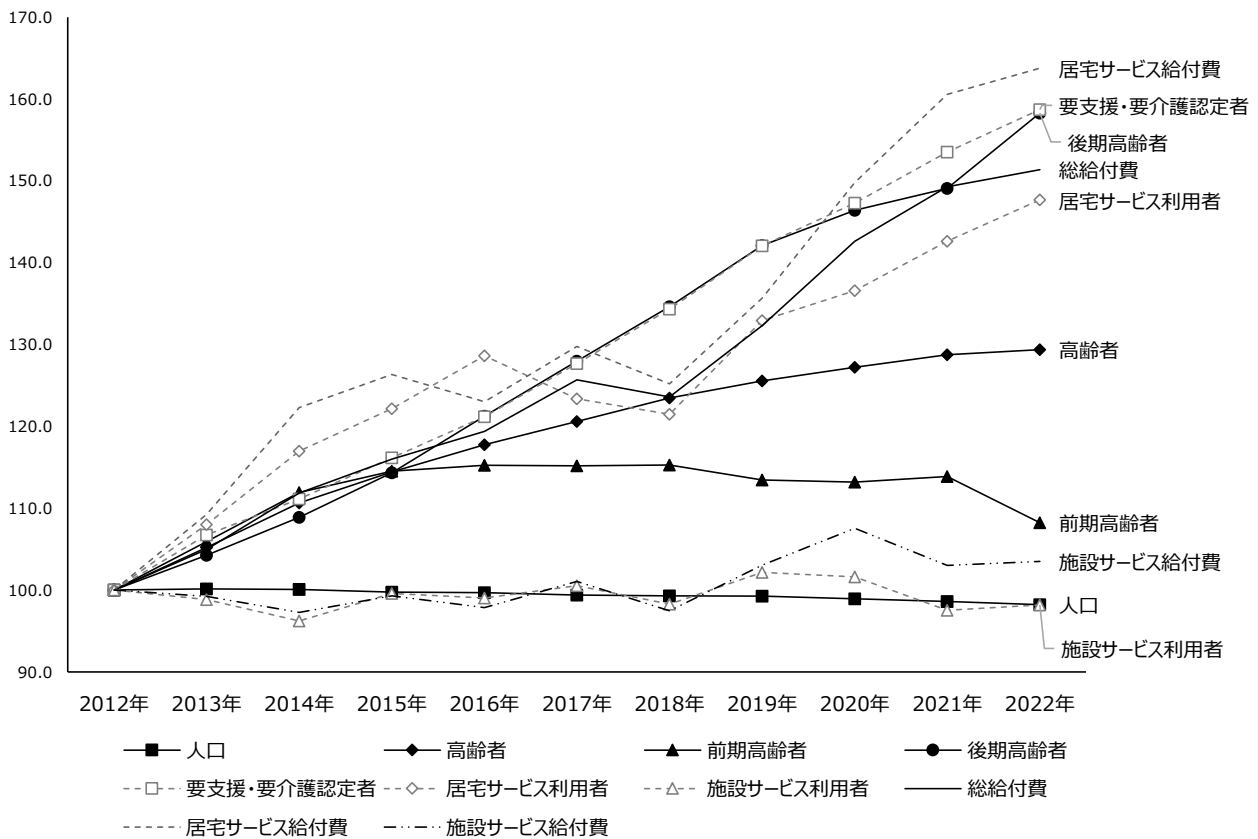
		和泉市	大阪府	全国	和泉市 マイナス 全国
		2022年	2022年	2022年	
居宅	訪問介護	116,458	104,573	76,307	40,152
	訪問入浴介護	67,710	66,307	62,738	4,972
	訪問看護	38,804	42,463	41,752	-2,947
	訪問リハビリテーション	31,503	36,713	33,963	-2,460
	居宅療養管理指導	14,892	16,675	12,423	2,468
	通所介護	82,837	75,759	83,595	-757
	通所リハビリテーション	64,362	59,281	57,846	6,517
	短期入所生活介護	114,943	114,129	107,374	7,569
	短期入所療養介護(介護老人保健施設)	99,690	93,991	88,498	11,193
	短期入所療養介護(介護療養型医療施設等)	-	110,605	122,192	-
	短期入所療養介護(介護医療院)	-	-	93,644	-
	福祉用具貸与	12,530	12,497	12,009	521
	特定施設入居者生活介護	195,351	187,650	181,144	14,207
	介護予防支援・居宅介護支援	12,788	13,636	13,133	-345
地域密着	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	157,994	183,760	165,536	-7,542
	夜間対応型訪問介護	-	31,278	38,375	-
	地域密着型通所介護	84,806	67,670	75,252	9,554
	認知症対応型通所介護	168,972	111,461	116,752	52,220
	小規模多機能型居宅介護	193,946	202,656	191,119	2,827
	認知症対応型共同生活介護	243,632	266,886	255,970	-12,338
	地域密着型特定施設入居者生活介護	200,944	204,004	196,177	4,766
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	281,542	294,643	281,358	184
	複合型サービス	293,795	289,834	258,932	34,863
施設	介護老人福祉施設	264,139	272,731	262,756	1,383
	介護老人保健施設	286,162	303,315	286,008	154
	介護療養型医療施設	340,837	315,458	315,219	25,618
	介護医療院	394,732	380,373	359,097	35,635

資料：介護保険状況報告（各年11月月報【9月利用分】）

【参考】人口、認定者、サービス利用等の一覧

- 人口が減少する中、高齢者はこの10年で約1.3倍に増加。後期高齢者は約1.6倍。
- 要支援・要介護認定者も約1.6倍増加している。
- 居宅サービス利用者は約1.5倍に増加しているが、居宅サービス給付費は約1.6倍。
- 後期高齢者の増加に合わせ要支援・要介護認定者や居宅サービス、給付費等も同様に増加。

2012年を100.0とした各指数（和泉市の10年）



	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
人口	100.0	100.1	100.1	99.7	99.7	99.4	99.3	99.3	98.9	98.6	98.2
高齢者	100.0	105.2	110.6	114.4	117.8	120.6	123.4	125.5	127.2	128.7	129.4
前期高齢者	100.0	105.9	111.9	114.5	115.2	115.2	115.3	113.4	113.2	113.9	108.2
後期高齢者	100.0	104.2	108.9	114.3	121.3	128.0	134.6	142.1	146.4	149.1	158.3
要支援・要介護認定者	100.0	106.7	111.1	116.2	121.2	127.7	134.3	142.0	147.3	153.5	158.7
居宅サービス利用者	100.0	108.0	117.0	122.2	128.6	123.4	121.5	132.9	136.6	142.6	147.7
地域密着型サービス利用者	100.0	95.9	96.6	115.9	476.6	516.6	591.7	562.8	515.2	566.2	570.3
施設サービス利用者	100.0	98.8	96.2	99.6	99.0	100.5	98.3	102.2	101.6	97.5	98.2
総給付費	100.0	105.0	111.8	116.0	119.4	125.7	123.6	132.3	142.6	149.3	151.4
居宅サービス給付費	100.0	109.2	122.3	126.3	123.0	129.7	125.2	135.7	149.8	160.6	163.8
地域密着型サービス給付費	100.0	97.3	97.0	118.3	240.5	265.3	304.6	315.7	324.4	366.6	368.1
施設サービス給付費	100.0	99.2	97.3	99.3	97.8	101.1	97.5	103.0	107.6	103.0	103.5

まとめ

【人口】

- 総人口は減少している中、高齢者人口は増加傾向にあり、この10年で約1.3倍。
- 後期高齢者増加が大きい。2022年で初めて前期高齢者数を後期高齢者数が上回る。
- 高齢化率・後期高齢化率ともに全国・大阪府より低くなっているが、その差は年々縮まっている。

【世帯】

- 一般世帯のうち約4割が高齢者のいる世帯で、年々増加傾向にある。
- 高齢者単身世帯も年々増加傾向にあり、高齢者単身世帯の約6割が75歳以上の後期高齢者。

【要支援・要介護認定者】

- 要支援・要介護認定者は年々増加しており、2022年の要支援・要介護認定率は19.8%と、初めて全国値を上回る（大阪府よりは低い）。
- 要支援・要介護認定率は、75～84歳で2割、85歳以上で6割。
- 和泉市は要支援認定者が全国・大阪府よりも多い。

【介護保険サービスの利用】

- 和泉市は全国・大阪府より居宅サービスの利用者が多い。特に要介護1以下の人の利用が多い。
- 施設サービス利用者はほぼ横ばいの状況が続いている。要介護認定者が増えているのに対し、利用者が横ばいであることから、受給率は年々減少。
- 介護保険サービスの利用者は、「介護予防支援・居宅介護支援」が最も多く、次いで「福祉用具貸与」、「訪問介護」と続く。
- 給付費としては、「訪問介護」が最も多く、全体の約20%を占めている。「訪問介護」は受給者一人あたり給付費も全国・大阪府よりも高い。
- 新型コロナウイルスの影響もあってか、通所系及び短期入所はほかのサービスに比べて利用が伸びていない。訪問系のサービスは利用が大きく増えている。
- 後期高齢者の増加に応じて、要支援・要介護認定者、居宅サービス受給者、給付費が同様に増加。